

ゲンジの谷のマス生物調査と水草移植		
調査者： 勝沢広美 (横浜自然観察の森友の会アクアプロジェクト)		
調査場所：ゲンジの谷のマス		
調査日： 3月17日 4月11日 5月3日 6月8日		
調査開始年：1997年	次年度予定：継続・ <b>終了</b>	終了予定：1999年
<p>調査方法：</p> <p>水草（ヒシ）の種を金網（1Mほど）に、等間隔で11個をビニール紐で縛り煉瓦の重りをつけて沈め成長の様子を見ました。</p> <p>場所は、図の丸印です</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 網を引き上げ種の成長を記録する</li> <li>2. 網で池の泥をすくい生物の種類を記録する</li> </ol> <p>3月17日 A ヌカエビ14 ザリガニ2 カワニナ2 マツモムシ2          B ヌカエビ21 ザリガニ4          C ヌカエビ1 ザリガニ1 カワニナ1 オタマジャクシ1(ヤマアカガエル又はアカガエル) ヒキガエルの卵1塊 カワゲラsp1          D ザリガニ2          E ヌカエビ10 アカムシ2          *天気：晴 気温：24度 水温：18度 *ヒシは、芽が出ていない</p> <p>4月11日 A ヌカエビ12 イトミミズ1 カワニナ2 ヤゴsp アカムシ2          B ヌカエビ15 サカキガイ1          C ザリガニ1          D ヌカエビ1 ザリガニ1 ヤゴ1 オタマジャクシ(ヤマアカガエルとヒキガエル)少数          E ヌカエビ6 イトミミズ1          *天気：雨(水位が上昇) 気温：15度 水温：12度          *ヒシは、芽が出ない</p>		

5月3日 A ヌカエビ5 イトミズ3

B ヌカエビ12 イトミズ10 トビゲラの仲間 カワナ2

C ヌカエビ21 イトミズ5 トビゲラの仲間1 ガのサナギ1

D ヌカエビ6 イトミズ5 オタマジャクシ(ヤマアカガエル)2

E ヌカエビ4 イトミズ20 カワゲラ1 トビゲラの仲間1

地点以外の場所 ゼリガニ マツモムシ ヤゴsp ヌカエビが卵をもっていた

\*天気:晴(水位が低い) 気温:25度 水温:18度

\*ヒシは、芽が出ない

6月8日 A ヌカエビ5 カワナ1

B ヌカエビ29 ゼリガニ1 カワゲラ1 イトトンボのヤゴ1 アカムシ1 イトミズ1

C ヌカエビ10 オタマジャクシ1 シオカラトンボのヤゴ1

D ヌカエビ13 アカムシ1 カワゲラ1

E ヌカエビ10

\*天気:晴 気温:30度 水温:22度

\*ヒシは、1つ白い芽を出した(1.5cm)

## 結 果 :

夏場の調査が出来なかった為、ヒシの様子を調べに1月に池を調べに行きました。ヒシが、芽を出したなら種の抜け殻が網についているはずです。

しかし、池に泥が20cmほど積もり網の場所が分からなく調べられませんでした。芽を出したか不明です。

生き物の種類の記録もありません。

かわせみ生態調査

調査者： ・かわせみファンクラブ：青木努 池田登 岩崎一夫 板垣昭平 加藤みほ 金子七郎 小松正幸 小松正幸  
佐々木祥仁 白波瀬博己 鈴木茂 畠山英治 平野貞雄 平野敏夫 山田忠志 山川孝敏  
・その他 一般来園者

調査場所： 横浜自然観察の森の「みづきの池周辺」

調査日： 主として日曜日

調査開始年： 97年 99年度予定： 継続 - 終了 終了予定： 01年

調査方法：

(1) 調査目的

横浜自然観察の森の「みづきの池」に飛来する翡翠の生態等について調査し、翡翠が「みづきの池」でどのような生活・習性をもっているか調査した。

(2) 調査方法

この調査のため、休日（主として日曜日）の昼間にハイドの窓から翡翠の実態を観察した。

しかし、かわせみファンクラブ会員だけでは4日/月程度の点の調査となってしまう、調査結果の信頼度が低くなってしまふ恐れがあるので、一般来園者にも協力してもらい、テーターを面的・数量的に補足することによりテーターの信憑性の向上を図るため、次の対応策を実施した。

- ① ハイドの壁に調査協力依頼のポスターを張った。
- ② かわせみファンクラブ会員と共通の記録用紙をハイドの壁に吊るしておき、気軽に記帳してもらった。
- ③ 記帳をしてもらえるよう、10年度のグラフを張出した。
- ④ 調査に興味を持ってもらうために、ハイドに野鳥の写真を展示した。

(3) 調査項目

- ① ブロック別・止まり木別利用回数
- ② 時間帯別翡翠の飛来頻度（時間帯別・月別）
- ③ 翡翠の視認度合い（時間帯別・月別）

(4) 記録用紙の制限

- ① 調査用紙は1枚/1日とした。
- ② 1枚の調査用紙に調査項目と翡翠の行動を記録した。

(5) 調査の継続

翡翠の生態は、個体によって変わることと、丸1年を通した調査はまだ1ヶ年のため、「みづきの池」に飛来する翡翠の生態をまだ把握したとは言えない状態であるがそれなりの生態が把握できた。

しかし、まだ不十分な面も有るので、H12年も継続調査して年間の翡翠のライフサイクルを調査する事とした。

(6) 判明したこと。

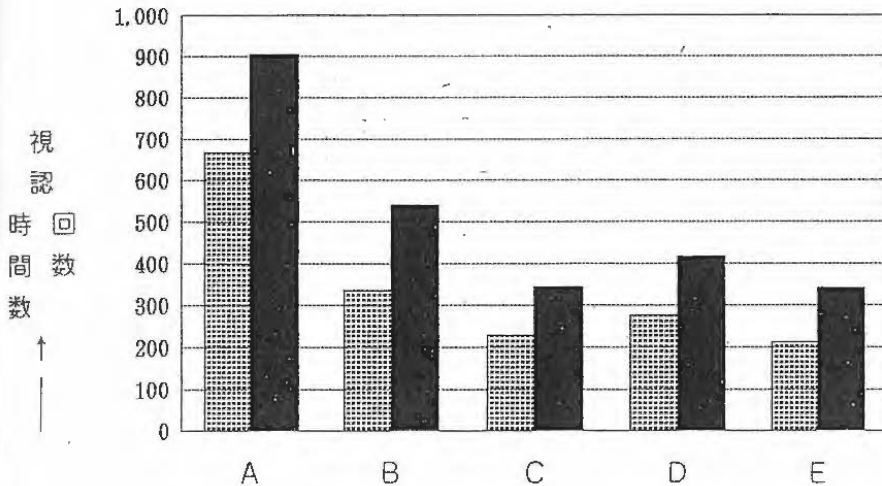
- a. 給餌・交尾・一番子・二番子等の大まかな生態が確認できた。
- b. また、子供どうしの縄張り争いとか、今年は♀が縄張りを確保したことが確認された。
- c. 今年も営巣した場所は不明である。

結果：

(1) 翡翠のブロック別視認頻度

- ① みずきの池をA～Eの五つのブロックに分けて、どのブロックに翡翠が居るか調査した結果が図-1で有る。
- ② 一番、翡翠が視認できたブロックはAブロックであるが、このブロックは止まり木であるため、観察者にとって翡翠を見たという印象が強いため、記録に残していることが影響していると思われる。  
実際に自分の観察では、Bブロックが一番多い。
- ③ ブロックで視認できた時間数とブロックで翡翠を視認できた回数との差が余りないのは、翡翠が池の中を周回している回数が的確に把握されていないため、実質的にはブロック別時間数の数倍の頻度になっていると推測される。

図-1 ブロック別視認回数グラフ



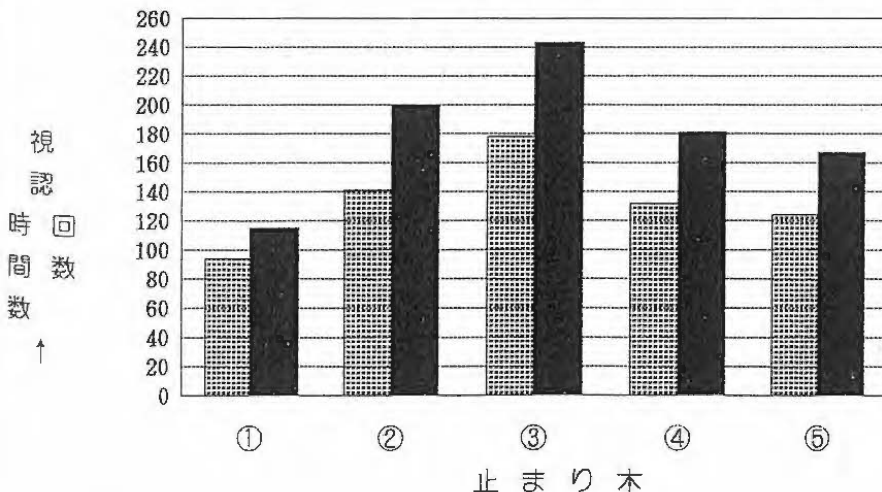
延べ観察時間 1,012

- ブロックで視認できた延べ時間数  
N=1,721 > 1,012  
☆1時間の中で、A～Eを渡り歩いているため。
- ブロックで翡翠を視認した頻度数  
N=2,552  
☆1時間の中で、各ブロックで2回以上視認含む。

(2) 翡翠のとまり木別視認頻度

- ① A～Eの五つのブロックの内、Aブロックはハイド前とイカダに設置した止まり木で、この止まり木に止まった延べ回数 (N=906) の内、止まり木別の結果が図-2で有る。
- ② ③の止まり木に止まることが最も多く、次に②の止まり木に止まっていた。
- ③ これは、③の止まり木が他の止まり木より大きく池に張り出しているためと思われる。
- ④ ①については、隅であることと、葉が繁っているあいだは見にくいことが影響していると思われる。
- ⑤ 実際に観察していて、窓より手や棒等を出さなければ、急な動きをしない限り、声等では左右されないようである。

図-2 とまり木別視認回数グラフ



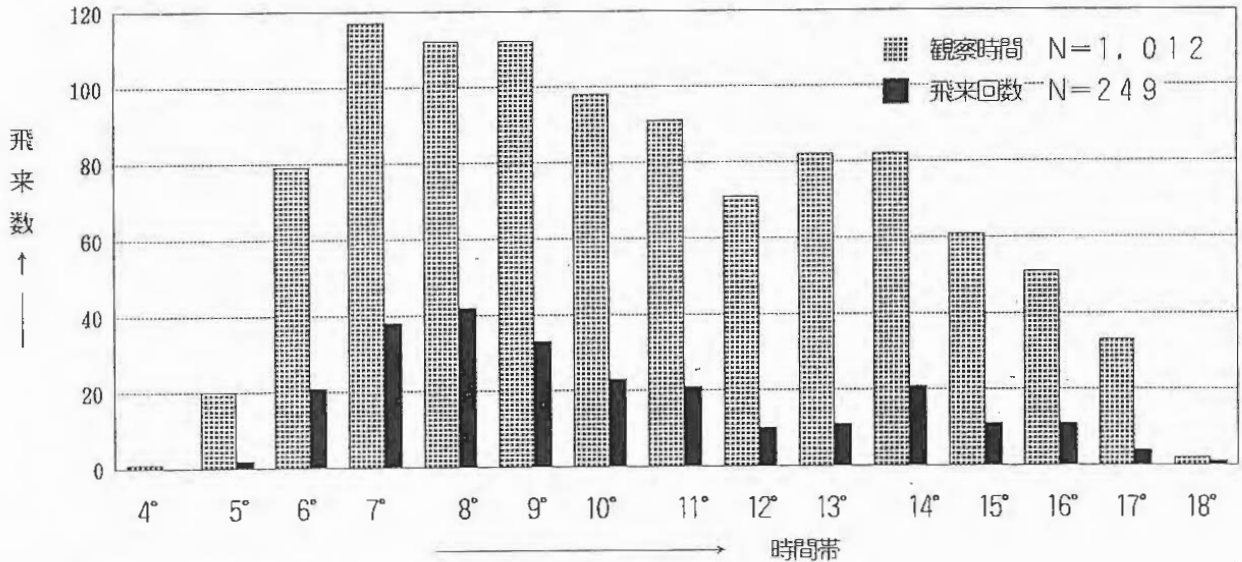
- 止まり木で視認できた時間数  
N=669  
☆1時間の中で①～⑤を渡り歩いていた時間を複数計上。
- 止まり木で視認できた回数  
N=906  
☆1時間の中で、各止まり木で2回以上視認含む。



(3) 翡翠の時間帯別飛来数

- ① 翡翠の、年間を通した時間帯別飛来回数をグラフに表したのが図-3である。
- ② 年間を通した時間帯別の飛来は、午前と午後を比較すると、午前中の方が多い。
- ③ 時間帯では、8°前後が一番多く飛来している。
- ④ 12~2月は飛来回数も少なく、時間帯はバラバラで、或る時間帯に集中していない。
- ⑤ 3~4月は、午前中の方が圧倒的に飛来している。
- ⑥ 5~8月の子育ての期間は、午前中の方が圧倒的に多いが、6月だけは観察時間の割に午後のほうが多かった。
- ⑦ 9~11月は、春と同様に午前中の方に集中している。

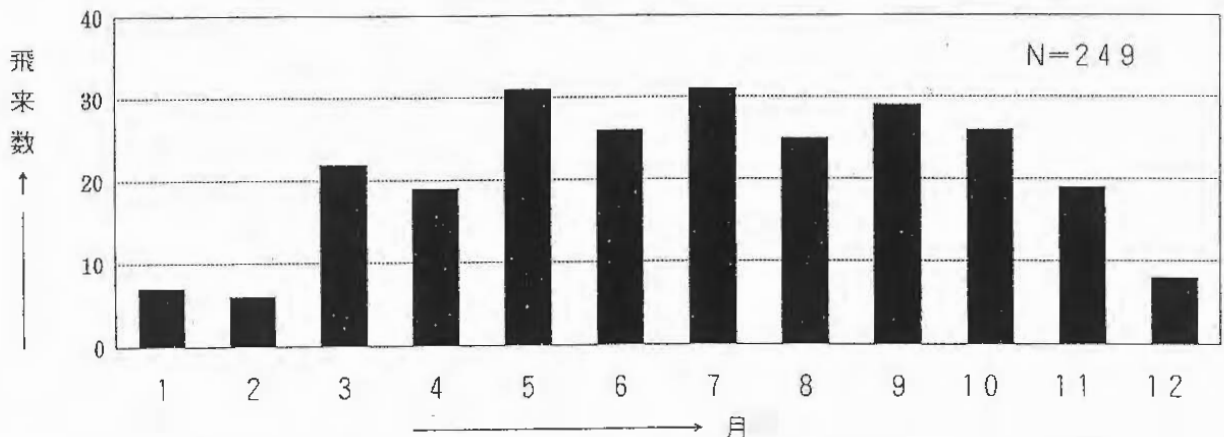
図-3 時間帯別飛来回数グラフ



(4) 翡翠の月別飛来回数

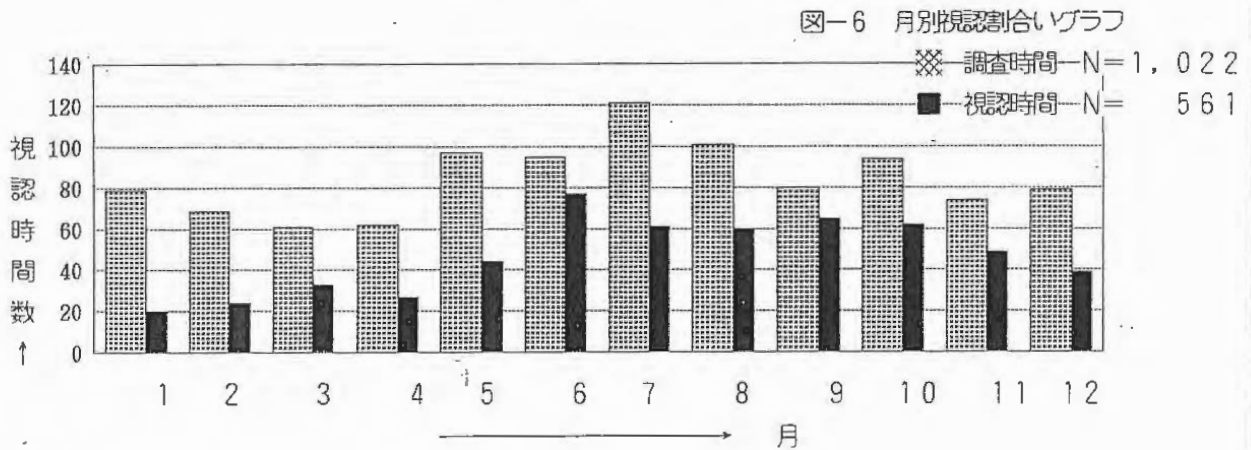
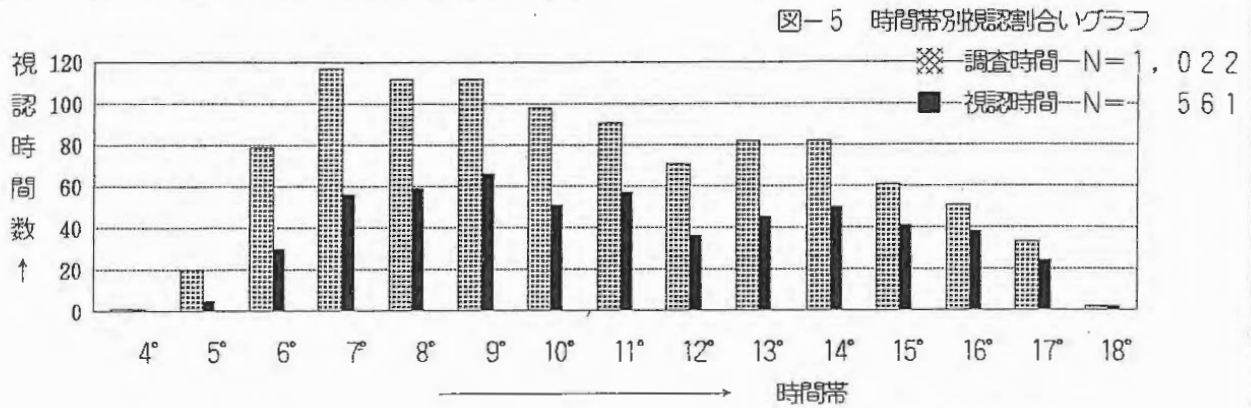
- ① 翡翠の月別飛来回数をグラフに表したのが図-4である。
- ② 5月が最も多く飛来しているが、これは翡翠の1番子の親子が飛来したものである。⇒ 子育ての時期  
ちなみに、1番子の飛来は5月23日(以前)である。⇒ 去年は6月9日であった。
- ③ 9月が次に多いのは、2番子の親子が飛来したものである。⇒ 子育ての時期  
ちなみに、2番子の飛来は8月15日(以前)である。⇒ 去年は8月14日であった。
- ④ 月別で比較すると、12月~2月の冬季は他の月よりも大幅に減少している。  
これは、池の氷結と、水温低下に伴う小魚が池の底に身を潜めるために、餌が取れにくくなる為と推測される。

図-4 月別飛来回数グラフ



(5) 調査期間中の時間帯別・月別視認割合

- ① 翡翠の時間帯別・月別視認割合をグラフに表したのが、図-5・図-6である。
- ② 1時間観察していれば、年間平均で55%の割合で翡翠が見られた。
- ③ 時間帯別では、年間平均では8～17時の間が約50%以上の確率で見られる。
- ④ 1時間観察していれば、月別では、6・9月が81%で最も確率が高く、8月は二番子が飛来する割に59%と低かった。また、11月は66%と6・9月に次ぐ高い確率であった。

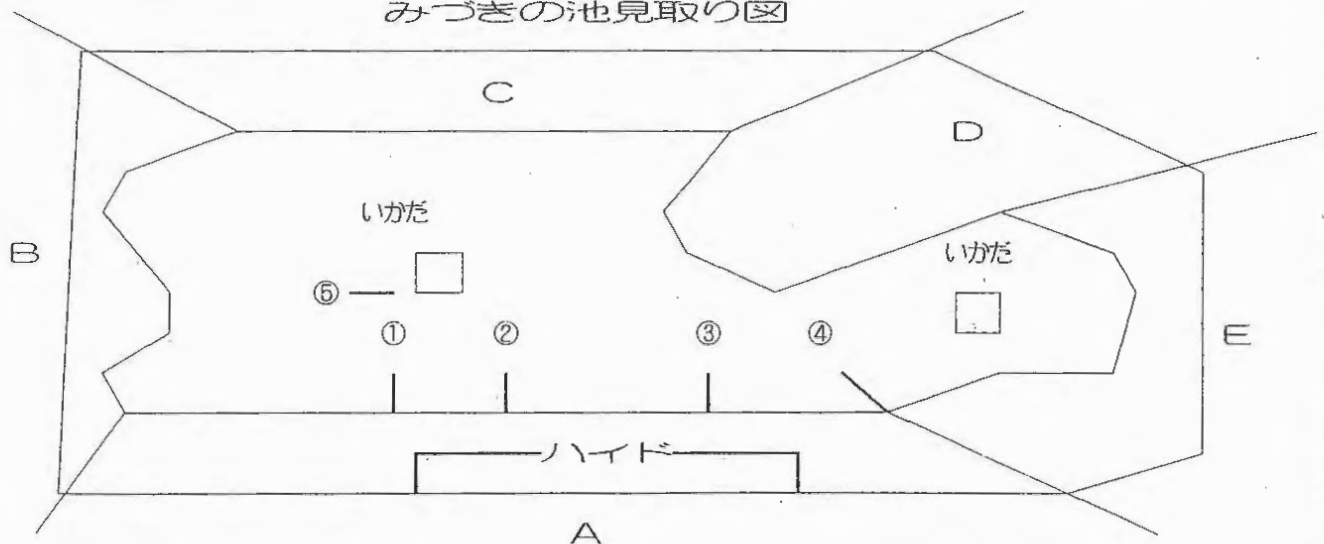


(6) みずきの池での翡翠と野鳥の生態観察

観察月	飛来性別	かわせみ	観察された他の野鳥
1月	♂	① 手前のとまり木にあまり止まらない ② 餌は殆どエビ	ウソ アオジ ルリビタキ♂♀ ジョウビタキ アカハラ 他
2月	♂♀	① 餌は殆どエビ ② 16日以降♀が飛来	ウソ アオジ ルリビタキ♂♀ ジョウビタキ アカハラ 他
3月	♂♀	① 盛んに鳴く ♀が♂を呼ぶよう。 18日⇒3羽入る ② 22日⇒7° 35 給餌 27日⇒給餌	アオジ
4月	♂♀	① 3日♂が小魚を加えて下流から飛来⇒7° 18' 交尾する ② 25日以降 ♂ しか飛来しない。	8日ツバメ
5月	♂	① ♀は卵を温めているのか♂しか飛来しない。	3日キビタキ♂ 16日ホトトギス

5月	♂	② 23日 一番子が飛来	
6月	♂♀ ♂♀	① 6月になると幼鳥1羽単独で飛来 ② 12日 親♀1羽 幼鳥3羽 ③ 下旬になると、幼鳥も他の翡翠を追いかけ回している。 ④ 18日⑤のイカダで親と幼鳥2羽が止まった。	13日 オオルリの鳴き声
7月	♂♀	① 一年のうち、最もかわせみを見れる確率が高い。 ② 複数で入っていることが多い	
8月	♂♀	① 12日 ザリガニを取って食べる ② 10日二番子が入ってくる。 15日 親♀1羽 幼鳥2羽	21日 オシドリ♀ ⇒ 10/10頃まで居た
9月	♂♀	① 上旬になると、幼鳥も他の翡翠を追いかけ回している。 ② 幼鳥は♀が飛来してくるようになった。	
10月	♀	① ♀しが飛来しないようになった。 ⇒ みずきの池とイタチ川の上流は、♀の縄張りとなったようである。 ② 午後より午前中(7時頃)の方が飛来してくる。	2~11日 エソビタキ・コサメビタキ 17日 ジョービタキの鳴き声 16・17日 オシドリ♂2羽 ♀1羽 23日 キビタキ♂♀ 31日 オシドリ♂1羽 ♀3羽
11月	♀	① ♀しが飛来しない。 ② 手前のとまり木にあまり止まらなくなった。	
12月	♀	① 寒くなってくると餌は殆どエビ ② 23日 池が初氷結	ツグミ カケス コガモ シメ 23日 イカル15羽 水飲み

みずきの池見取り図



参考にした本・文献 ..... 無し

調査にご協力していただいた多くの方々・並びにご指導いただいたレンジャーにお礼申し上げます。

## 横浜自然観察の森利用データ調査

調査者：今永正文〔(財)日本野鳥の会サウチアリセンター横浜自然観察の森〕

調査場所：横浜自然観察の森

調査日：1999年4月～2000年3月

調査開始年：1999年

来年度予定：継続

終了予定：2001年度

### 目的：

1986年度にオープンした横浜自然観察の森は、一般来園者をはじめとして団体での利用・行事への参加等様々形で利用されてきている。そこで、特に90年代を中心にこれまでの施設の利用傾向を調査・分析し現状を把握すると共に、今後の施設運営の基礎資料とする。

### 調査方法：

年度毎に調査してきた施設利用データを収集・整理し、「利用者数の経年変化」・「利用形態比較」・「来館回数比較」・「来館者年代比較」・「団体数及び対応団体数の経年変化」・「取材・視察件数」の各テーマに沿ってデータを分析し、結果をまとめた。

### 結果：

- 1) 90年代の利用者数変化 (図1)  
93年度を頂点と、97年度までは減少傾向を示していたが、98年度・99年度と4万2千人代を維持し、近年は安定している。
- 2) 90年代の利用形態比較 (図2)  
92年度以降、個人での利用者の割合が減少してきており、99年度では全体利用者の中で約3割となっている。一方団体利用者数が増加する傾向にあり、92年度では約3割だったのが、99年度においては全体の6割を示すまでになり、約2倍となっている。また、行事参加者数は95年度以降、全体の1割を維持しており、安定傾向を示している。
- 3) 90年代の来館回数比較 (図3)  
92年度以降、来館回数が6回以上という来館者の割合が増加してきており、99年度では全体の3割を占めている。施設がゆるやかな常連化傾向を示しているといえよう。一方はじめてという来館者は微減、2～5回という来館者は約3割で安定している。
- 4) 90年代の来館者年代比較 (図4)  
来館者を年代で比較すると、年を追う毎に51才以上の高齢者の施設利用が増加してきているのが大きな特徴である。また、30才以下の若年層が減少しており、幼児は微増、中高生は変化がないものの、学童の利用が減少してきている。
- 5) 団体数及び対応団体数の経年変化 (図5)  
利用団体数自体には、93年度以降大きな変化はないが、対応を求める団体の数が95年度以降増加してきている。
- 6) 過去3年間の取材・視察回数 (図6)  
取材件数は98年度に最も高く、99年度は減少した。また、視察は97年度以降減少してきている。

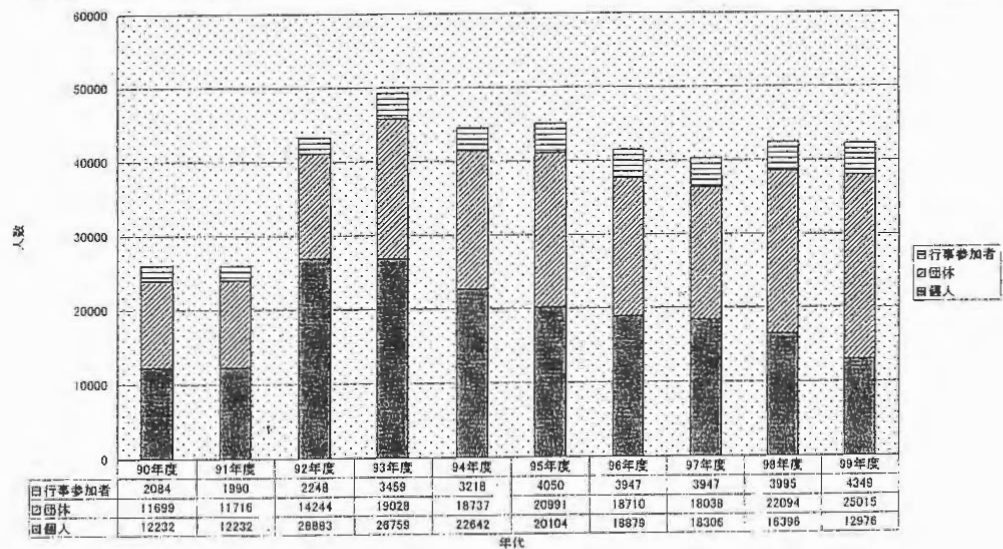


図1 90年代の利用者数比較

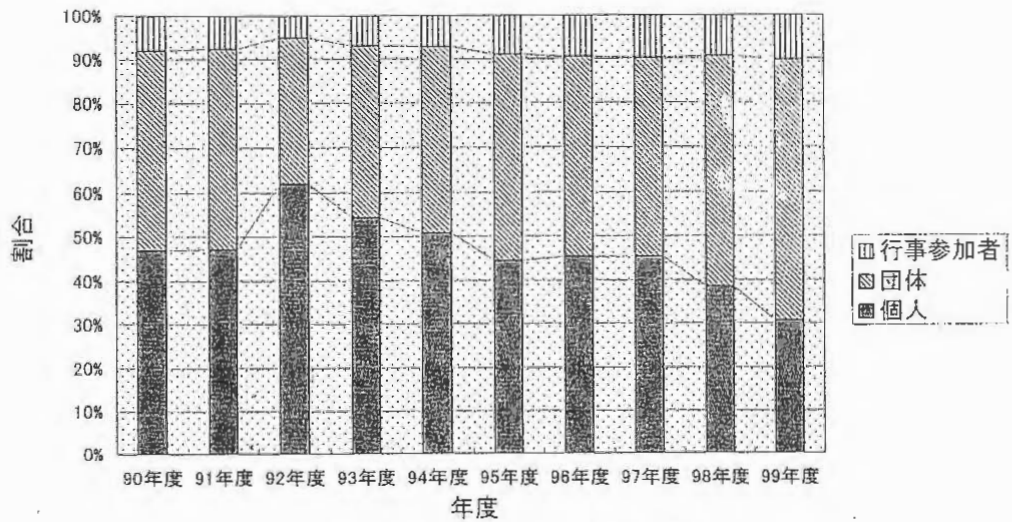


図2 90年代の利用形態比較

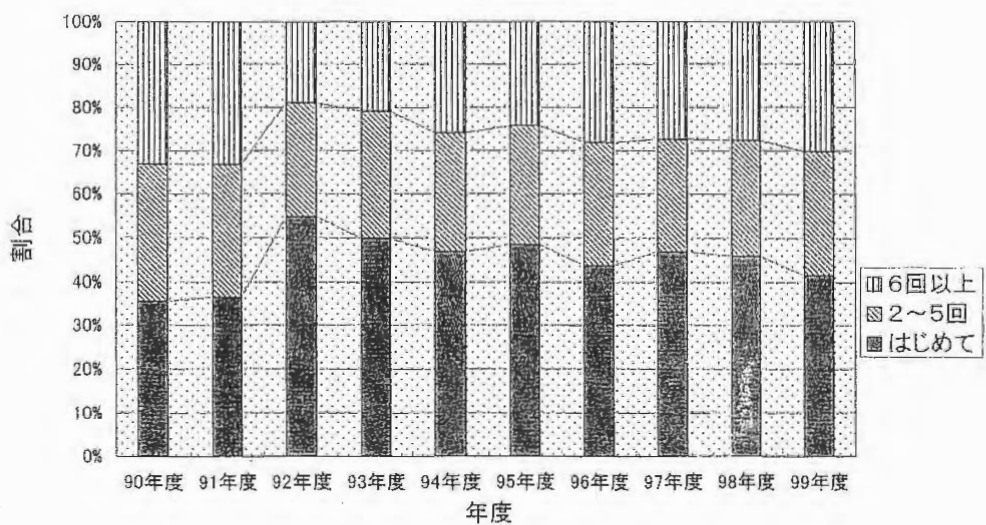


図3 90年代の来館回数比較



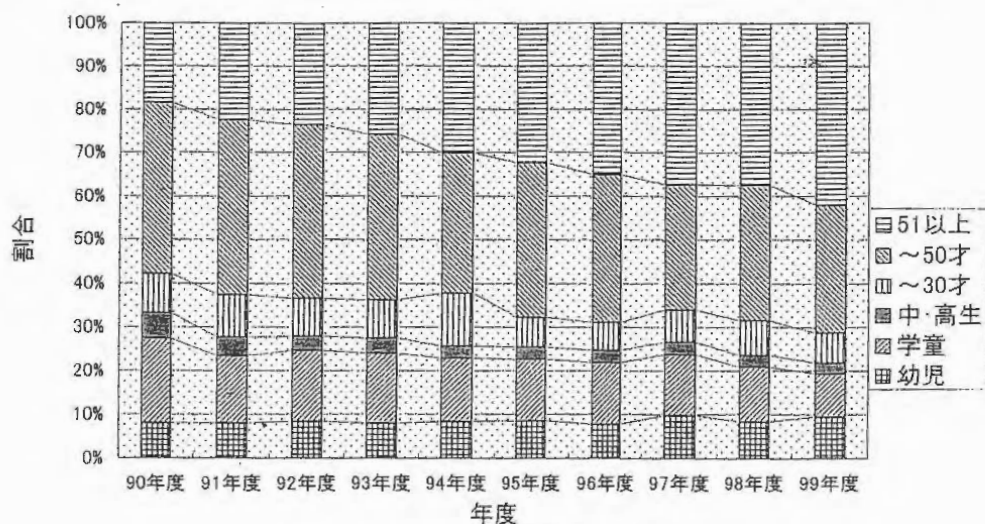


図4 90年代の来館者年代比較

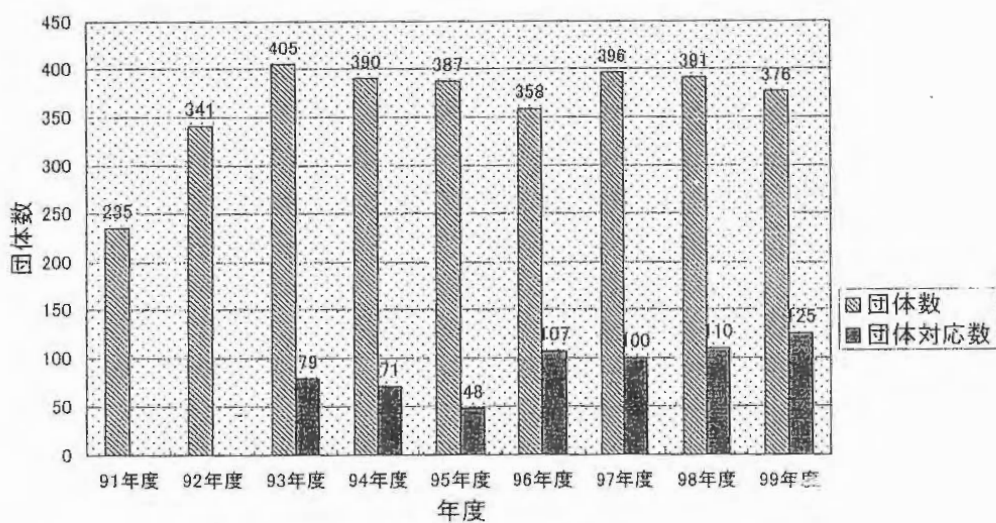


図5 団体数及び対応団体数の経年変化

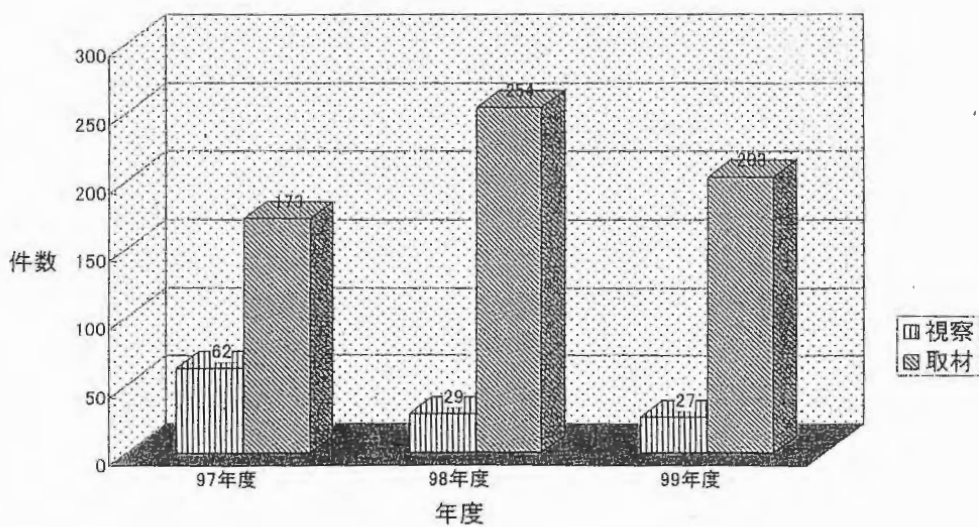


図6 過去3年間の取材・視察数



## 主催行事参加者へのアンケート調査〈4〉

調査者：今永正文〔（財）日本野鳥の会サウチアリセンター横浜自然観察の森〕

調査場所：横浜自然観察の森

調査日：1996年4月～2000年3月

調査開始年：1996年

来年度予定：継続

終了予定：1999年度

### 目的：

96年度から3年間、主催行事参加者に対するアンケート調査を実施し、「横浜自然観察の森環境教育デザイン」の質的評価を試みてきた。そこで今回の調査では、96～99年度の4年間の「行事实施回数」や「行事参加者数」を行事の類型別に集計し、年度毎に比較することで、実施行事の経年変化を把握する。

### 調査方法：

年度毎に調査してきた行事实施回数と行事参加者数のデータを収集・整理し、環境教育の段階的目標である「親しむー知るー守る」に加え、セルフ・イット型・ショートプログラム型行事を「親しむ」以前の「気づく」、また施設ボランティアや地域の環境保全グループの交流を目的とした行事を「守る」より高度な「集まる」として新たに設定し、以上の五つの類型にそって、行事实施回数と参加者数のデータを分析し、結果をまとめた。

### 結果：

#### 1) 行事实施回数・行事参加者数の年度比較

96～99年度の行事实施回数は以下ようになった。

	96年度	97年度	98年度	99年度	(単位)
行事实施回数	3,947	3,859	3,995	4,349	人
行事参加者数	77	104	91	95	回
1回あたりの平均参加者数	51.3	37.1	43.9	45.3	人

#### 2) 類型別行事实施回数の年度比較 (図1)

類型別の96～99年度の行事实施回数は以下ようになった。

	96年度	97年度	98年度	99年度	単位：回
気づく	0	11	8	45	
親しむ	39	32	31	21	
知る	8	11	11	5	
守る	34	49	30	12	
集う	1	0	1	0	

#### 3) 類型別行事参加者数の年度比較 (図2)

類型別の96～99年度の行事参加者数は以下ようになった。

	96年度	97年度	98年度	99年度	単位：人
気づく	0	135	210	2,152	
親しむ	2,949	2,729	2,174	1,603	
知る	202	197	129	105	
守る	502	798	381	225	
集う	300	0	400	0	

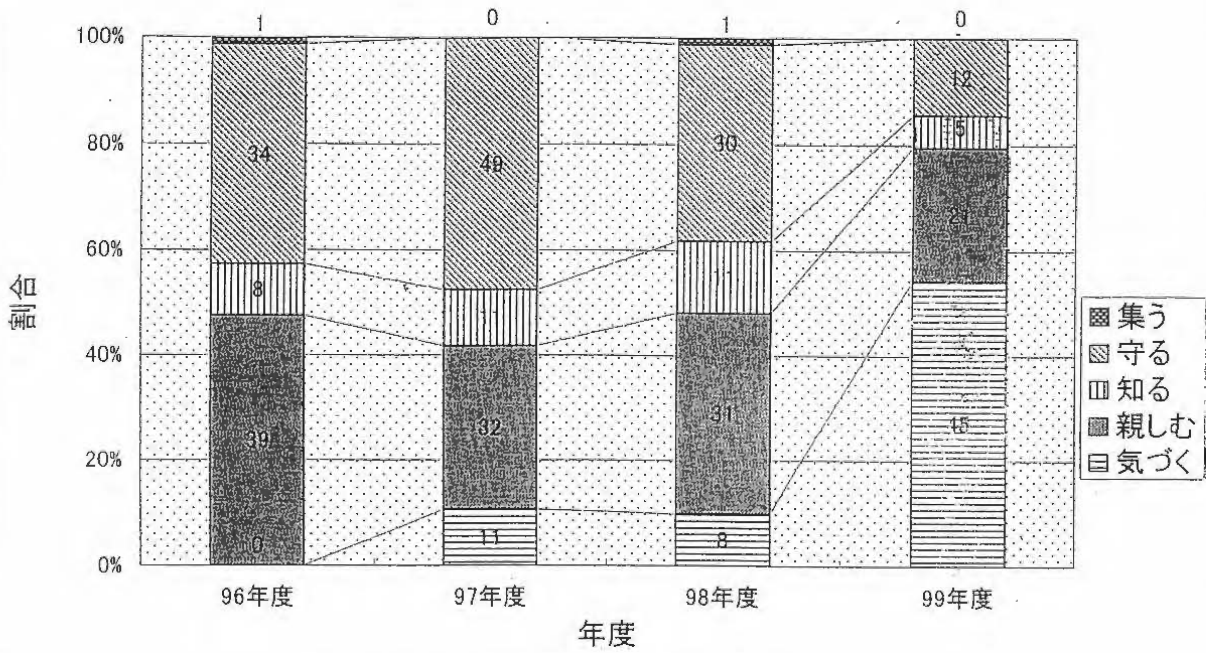


図1 類型別行事実施回数・年度比較

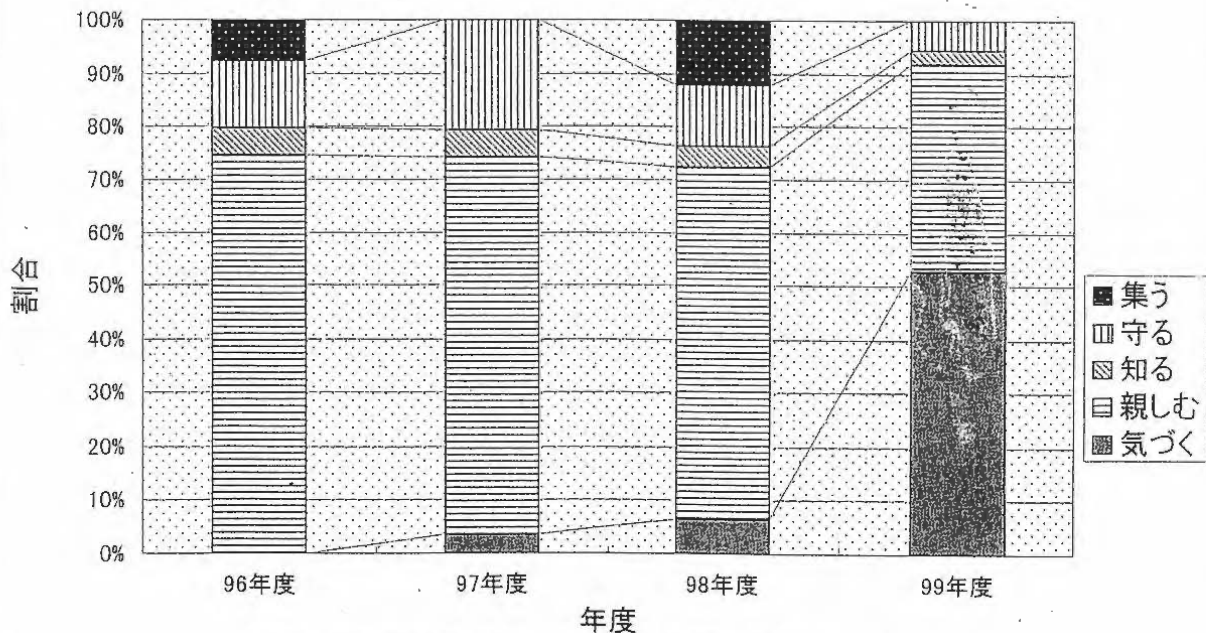


図2 類型別主催行事参加者数・年度比較

## 横浜自然観察の森友の会基礎データ調査 (3)

調査者：今永正文 [(財) 日本野鳥の会サウチアリセンター横浜自然観察の森]

調査場所：横浜自然観察の森

調査日：1999年4月～2000年3月

調査開始年：1997年

来年度予定：継続

終了予定：2001年度

### 目的：

施設のボランティアグループ「横浜自然観察の森友の会」の会員動向を把握し、施設利用を促進させるための基礎資料とする。

### 調査方法：

氏名を削除した会員データを友の会より借用し、そのデータをもとに「会員数の経年変化」・「年齢分布」・「過去3年間の比較」・「新規会員年齢分布」・「98・99年度新規会員比較」・「延べ活動人数比較」の6項目について、データを分析し、結果を図にまとめた。

### 結果：

- 1) 会員数の経年変化 (図1)  
99年度の会員数は399名となり、98年度に比べ微増した。
- 2) 年齢分布 (図2)  
50代の会員が最も多く、続いて60代、40代という結果となり、98年度と同様な年齢分布を示した。また男女の数では、0～9才・60代・70代では男性会員が女性を上回り、50代では同数となった。10代・20代・30代・40代では女性会員が男性を上回った。
- 3) 過去3年間の年齢分布比較 (図3)  
特徴的であったのは、50代の会員が減少し、60代の会員が増加している点である。その他には、70代の会員が増加し、40代の会員がやや減少傾向にあった。
- 4) 新規会員年齢分布 (図4)  
全体では70名の会員が新たに加入したが、年代で見ると40代の新規会員が最も多く、50代・60代と続いた。男女を勘案すると、40代男性の加入が最も多く、60代男性・50代男性が続いた。
- 5) 98・99年度新規会員比較 (図5)  
40代の新入会員の伸びが最も大きく、20代・70代・30代で増加した。最も減少したのは0～9才で、10代・50代・60代で昨年度を下回った。
- 6) 施設ボランティア延べ活動人数・年度比較 (図6)  
友の会を含む施設で活動したボランティア人数を合計した延べ活動人数の経年変化を調査した。97年度を頂点とし、94年度からは増加傾向、98年度以降は減少傾向を示した。

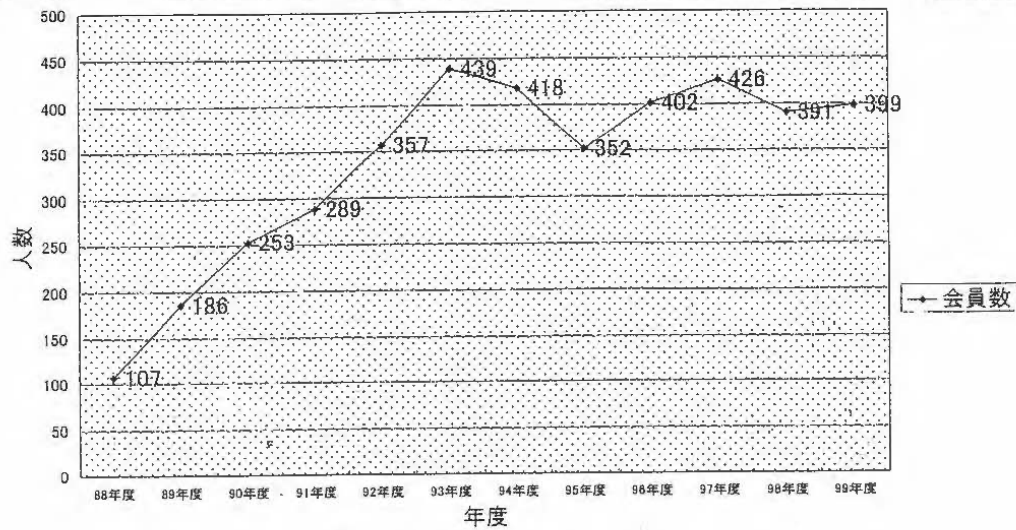


図1 会員数の経年変化

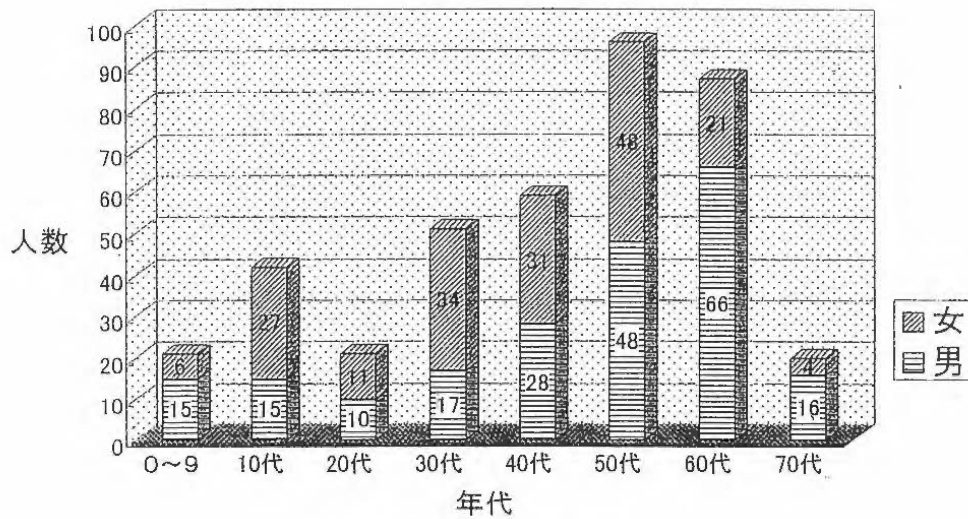


図2 会員年齢分布

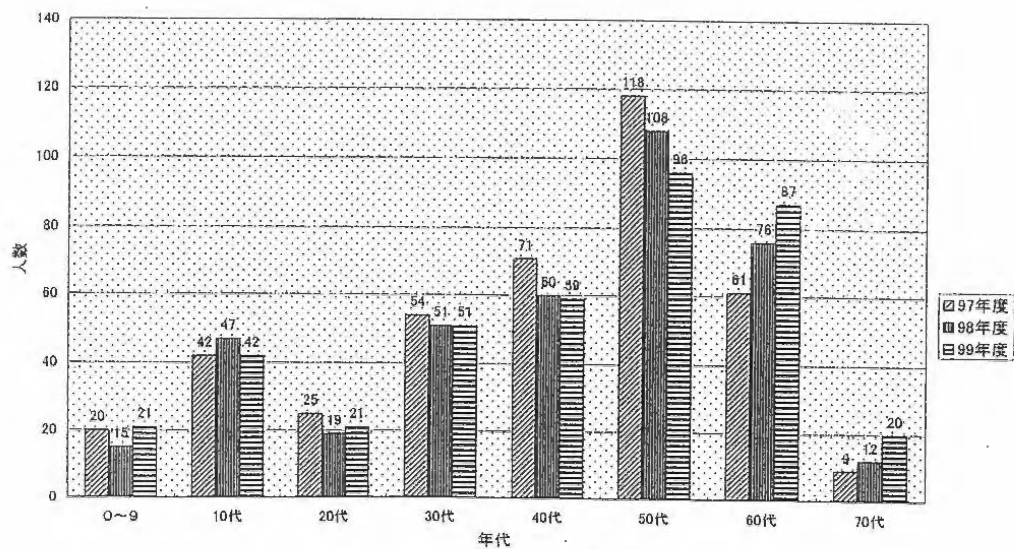


図3 過去3年間の年齢分布比較

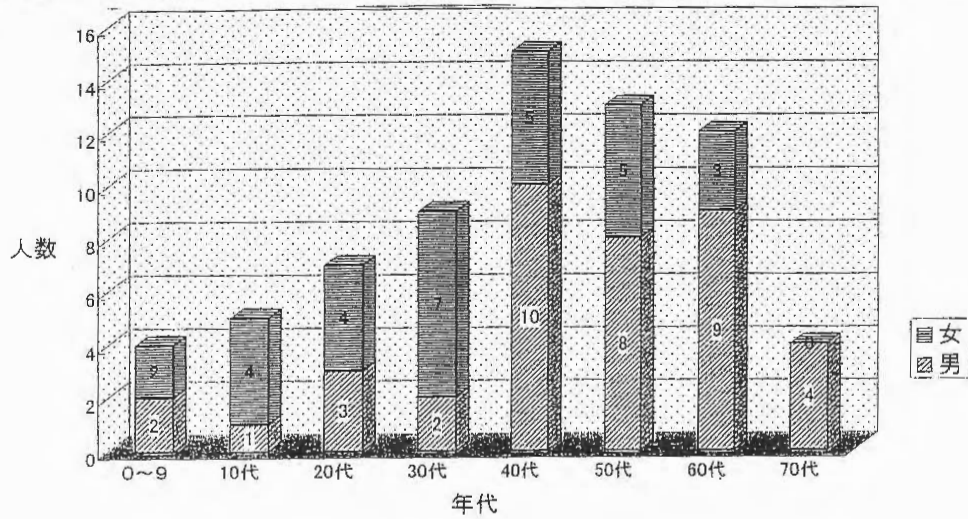


図4 新規会員年齢分布(男女)

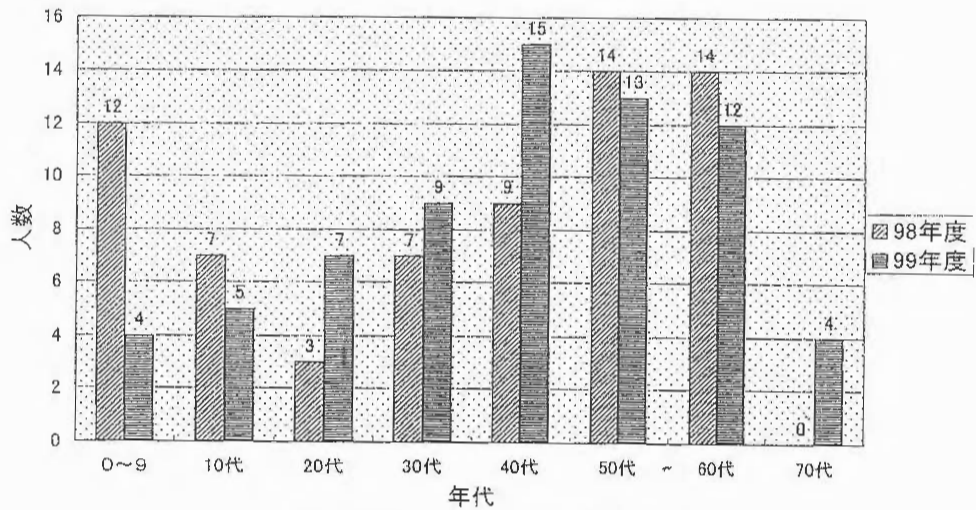


図5 98・99年度新規会員内訳

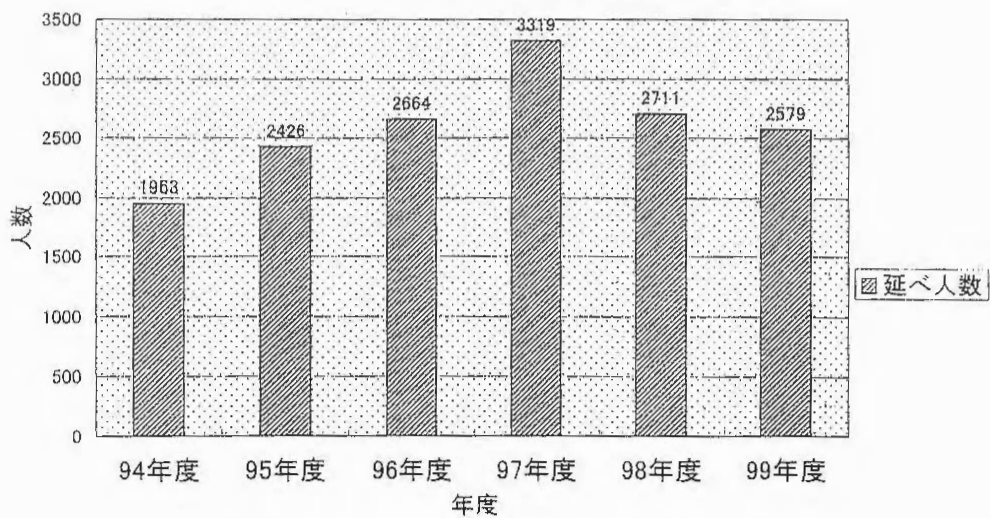


図6 ボランティア延べ活動人数・年度比較



横浜自然観察の森 自然観察センター内 展示効果測定調査 (1)

調査者：倉渕理恵 (日本野鳥の会サウチアセンター 横浜自然観察の森担当)

調査場所：横浜自然観察の森 自然観察センター

調査期間：1999年4月～2000年3月

調査開始：1999年 来年度予定：継続 終了予定：2001年

調査目的：

自然観察センターの展示は、常設展示、季節展示に分かれており、園内の自然情報について情報発信を行なっている。センター内の展示は常に来館者の期待に答えるものでなくてはならない。そこで本調査では、来館者のセンター内の展示に関するアンケート調査を行い、展示が適切に情報を提供し、来館者が満足しているかを明らかにする。ただし、1999年度は、準備段階としてまず「展示効果測定調査」に関する文献を収集することを目的とした。

調査方法：

日本における展示効果測定に関する文献を図書館において検索、また博物館関係者の協力により入手した。

結果：

以下に明記した文献を収集することができた。

<参加・体験型展示について>

- ・丹青研究所編 1999  
「HANDS-ON MUSEUM ～博物館における参加・体験型展示を考える～」
- ・染川香澄著 1994  
「こどものための博物館」 岩波書店
- ・目黒実著 1996  
「チルドレンズ・ミュージアムをつくろう」 (株)ブロンズ新社
- ・染川香澄・吹田恭子著 1996  
「ハンズ・オンは楽しい」 工作舎

<来館者研究・評価について>

- ・三木美祐 1999  
「アメリカでの展示の検証と評価法の応用～展示の検証とはお客様を知ることである」  
『ミュージアム・データ』no44.pp1-pp8 株式会社丹青研究所
- ・三木美祐 1999  
「体験型の展示手法を導入する意義～個人的体験からの考察～」 『ミュージアム・データ』  
no45.pp1-pp6 株式会社丹青研究所
- ・並木美砂子 1997  
「来園者行動の分析法としての親子会話採集法の妥当性について」 平成9年度博物館学会全国  
大会発表プログラム 全日本博物館学会
- ・高橋順一 1999  
「博物館における来館者調査の実施状」 『桜美林論集』pp.-pp 桜美林大学
- ・井島真知  
「ミュージアムエディケーターとして考える教育と展示」 『展示学』pp.16-pp.70  
日本展示学会

文献収集の結果、日本においては欧米の影響を受け、来館者研究や展示効果測定についての実践が紹介され、その必要性を主張する記述が多いことがわかった。しかしながら研究成果に及ぶものは現段階では非常に少ないことも事実である。今後は以上の文献を参考にし、センター内の展示効果を実際に測定していくことを課題としていきたい。



ジョロウグモの冬越し調べ		
調査者：松田 久司, 漆原 弘光, 高橋 剛, 志釜 じゅんこう		
調査場所：サクラ林		
調査日：1999年12月4日		
調査開始年：1999年	次年度予定：終了	終了予定： 年
調査目的： ジョロウグモの卵のうは、観察会の冬越しのねたとして、使用しているが、どのような場所に産みつけられているかを、知りたいため。		
調査方法： ジョロウグモの卵のうを見つけて、以下の項目を調べた。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卵のう番号、胸の高さでの幹の太さ、樹木番号、樹種。                      なお卵のうがなければ、卵のう番号にハイフン(-)を記入。</li> <li>2. 卵のうの状態(卵のうに付いているものの種類(エサの残りかす、樹皮、枯葉など)、壊されていないか)。</li> <li>3. 卵のうのついている場所の高さ。</li> <li>4. 卵のうのついている場所の太さ。枝が又になっていて測定が難しい場合はすぐ下の場所を測る。</li> <li>5. クリノメータを使用して、卵のうのついている方向(東西南北)と傾き(垂直方向を0度として、下向きを正、上向きを負の角度で表す)。</li> <li>6. 卵のうのついているところに一番近い枝までの距離と位置(枝の上下左右)。</li> </ol>		
結果： データ整理中		
参考にした本・文献： 池田博明(編) . 1998. SPIDER DATA. Hypertext version. JAPAN.		

### 環境記録写真

調査者：玉田知穂（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：園内11カ所

調査日：7月23日

調査開始年：1999年

次年度予定：継続

#### 調査目的：

写真記録をとることで、園内の湿地・林の変化を記録する。

#### 調査方法：

園内11カ所（図1）で、環境を撮影した。

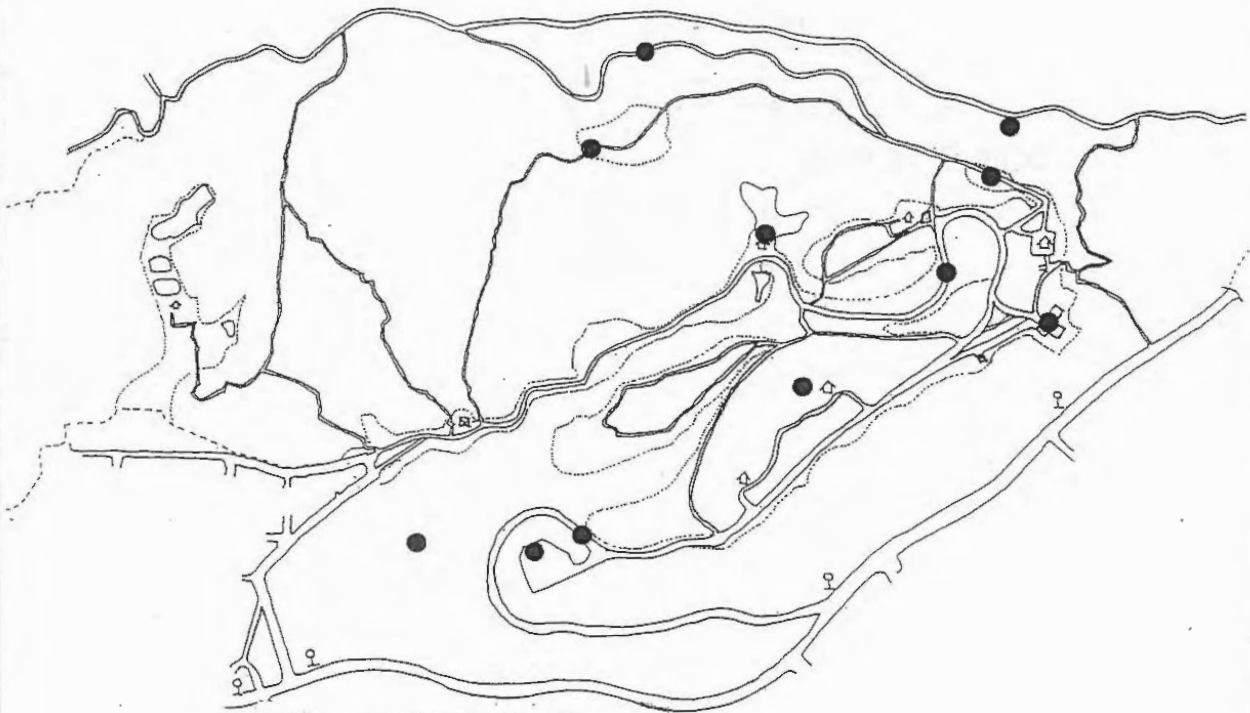


図1. 環境写真撮影地点

●：撮影地点

### 自然情報収集調査

調査者：来園者，レンジャー，ボランティア

調査場所：園内全域

調査日：通年

調査開始年：1986年      次年度予定：継続

**調査目的：**自然の生物情報を収集し，自然解説，行事，一般来園者へのサービスとして活用する。また，生物リストを作成する際の資料とする。

**調査方法：**来園者，レンジャーなど職員，ボランティアの確認した生物の情報を収集した。情報は，種別・種名・確認年月日・確認内容・記入者を明記してもらった。これらの情報を月別に，種別ごとにまとめた。

**調査結果：**

情報はカードに記入し，このカードは，展示コーナーの自然情報ボードに最新情報としてを展示した後，閲覧できるようにファイルした。

### 移入生物調査

調査者：藤田 薫（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：園内全域対象

調査日：アンケート：1998年度，聞き取り：1999年度

調査開始年：1998年      次年度予定：継続

**調査目的：**

人為的に移入した生物を記録しておくことで，もともと生息していた生物やその後自然に移入してきた生物に対する人為的攪乱を明らかにしておく。

**調査方法：**

レンジャー，元レンジャー，ボランティアへのアンケートと聞き取りにより，以前に移入した生物のリストを作成した。また，1999年度に新しく移入した生物の記録も，リストにした。

記録には，移入した年月日，移入したときの状態（卵・種子・株など），数，移入先や移入もと，また，現在の状況（枯死，除去など）をまとめた。

**調査結果：**

「生物リスト」を参照。

### 鳥類出現記録

調査者：藤田 薫・玉田知穂（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：園内全域

調査日：年末年始を除き、ほぼ毎日

調査開始年：1986年 | 次年度予定：継続

**調査目的**：環境変化の指標として、鳥類の種類をモニタリングするには、ラインセンサス法だけでは記録しきれないため、補充調査として行う。また、季節の生物情報として、一部の情報をカード化し、展示する

**調査方法**：レンジャーなど職員、ボランティア、来館者の情報により、確認した鳥種を日別に記録した。集計に際しては、月事にまとめ、その月の調査日数あたりの各々の種の出現記録日数を求め、出現率とした

**調査結果**：

79種が記録された（「生物リスト」参照）。

### 鳥類によって散布される種子の調査

調査者：藤田 薫（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：長倉口～ミズキの谷までの間の透水舗装道 250 m

調査日：フンの採集：1995年10月～1996年10月の毎月1回

フン分析：2000年2月～3月

調査開始年：1992年 | 次年度予定：継続

**調査目的**：メンテナンスフリーの林づくりを行うための資料として、鳥類によって種子散布されている植物の種類を明らかにする。

**調査方法**：毎月、調査コースで鳥類のフンを拾い集めた。集めたフンは湯で洗い、中身の種子を集めた。種子は未同定である。

**調査結果**：

フンから見つかった種子は25種類であった。但し、種子は未同定のため、この種数には、多少の見間違いが含まれている可能性がある。今後、種子を同定することによって、どのような種類がいつ散布されるかを明らかにしていくことができると思われる。

調査名： コシオガマとカワラヨモギの草刈り時期調査		
調査者： 篠原 由紀子・金井 洋子 (横浜自然観察の森友の会野草プロジェクト)		
調査場所： 横浜自然観察の森ノギクの広場		
調査日： 1999年10月28日,11月2日		
調査開始年： 1999年	20年度予定： 継続・終了	終了予定： 2000年
<p>調査目的： 草刈りの時期を変えることにより、コシオガマとカワラヨモギにとって、どちらの草刈りがよいのかを調べる。</p> <p>調査方法： ノギクの広場で、夏刈り・初冬刈りの調査区域をロープで囲った。それぞれのコードラートを草刈りする区域と草刈りしない区域に分けてコシオガマとカワラヨモギの数をかぞえた。</p>		

調査名： アリジコクの分布調査		
調査者： 藤田 剛		
調査場所： カシの森 , コナラの杯		
調査日： 1999年 1年間		
調査開始年： 1997年	次年度予定： 継続・終了	終了予定年： 2001年

カメムシ調べ		
調査者： 高橋 睦		
調査場所： ウグイスの道		
調査日： 毎月第1土曜日 8月開始		
調査開始年： 1999年	次年度予定： <del>継続</del> 終了	終了予定： 年

植物種子調査		
調査者： 高橋 剛(横浜自然観察の森友の会)		
調査場所： 横浜自然観察の森 全域		
調査日： 2000年4月～2001年3月		
調査開始年： 1996年	次年度予定： 継続	終了予定： 未定
横浜自然観察の森園内における植物種子の標本を作製中		





# 1999年・花暦

調査者: 横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト

飯塚清道、金井洋子、上村義枝、高橋剛、高橋睦、堤桂子、中西淳子、橋本治子、畑史子、八田文子、古田理佳、松田久司、宗森英夫、矢追義人、篠原由紀子 (まとめ)

つぼみ: △, 花: ★, 未熟実: ○, 熟実: ●

例1.- 定期調査の日以外の記録 例2.- 定期調査の日には記録されなかったが、30日には蓄を記録した: △30  
 定期調査の日のコース: 午前ウグイスの道、午後センター→コナラ21→コナラ11→カシの森→ミズキの道→ミズキの谷→センター (種名の右は定期調査の日)

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日	熟した実の色
アオキ	△★	★○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	赤
アオチカラシバ							★○						
アオツツラフジ						△★○26	△★○		●				
アオミズ						△★	△★○●	○	●				
アカガシ							○						
アカシデ 植栽	△★		★	○	○				●9		△	△	
アカシヨウマ				○	○								
アカネ							△★○	○●	●				
アカバナ						△★	△★○●	△★○●	○●	●			
アカメガシワ	△22	△/★12	△/★	△★○	○	●							
アカラマツ				△★20	△★	△★○	△★○●		●				
アキグミ	△25	△★	○	○	○	△★26	△★○	○●	●8	●	●		
アキノレ 植栽						△★	△★		●				
アキノウナギツカミ(☆)							○						
アキノエノコログサ						○9							
アキノキンソウ(☆)								△★	○				
アキノタムラソウ				△★	△★○●	△★○●	△★○●		○●				
アキノノグシ					△	△★○24	△★						
アケビ	△★			○18									
アサザ 植栽	△★22	★	★	★	★	★							
アジサイ 植栽	★30	★	★	★	★								
アシボソ													
アズマイバラ	△/★15	★○	★○	○	○	○	★○19	△★○●	●	●			
アゼナ (7)					△★		○	○●	○●	○●			
アブラチャン	★	○		○	○	○	○●	△	△	△	△	△	
アメリカセンダングサ		●				△★8	△★○●	○●	○●	●			
アリタソウ							○						
アレチギシギシ			△★	○									
アレチヌスビトハギ						△★	○●						
アンズ 植栽(☆)	★											★23	
イガホオスギ								○					
イタドリ						△★/○24	○●	○●	○●	●	●	○	
イタビカズラ		○15	○	○	○			○24	○	○	○	○	
イタヤカエデ	★○	○	○	○	○15	○	○		○	○	○	○	
イチヤクソウ(☆)	△	●	△★	○●	○●	○●	○	○	○●	●	●	○	
イヌガラシ	△★○	△★○	△★○	○	△★○	△★9	△★○	○●	○●	○●	○●	○	

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
イヌコウジュ							△★	★○	○			
イヌコリヤナギ 植栽	△★	○										
イヌザクラ		△★	○	●					●			
イヌザンショウ					○						△	
イヌシデ	★				△		△★	○				
イヌショウマ						△	△★	○				
イヌタデ						△★	△★	●	●			
イヌツゲ		△/★22	△★	○	○	○	○	●	△★	△★		
イヌトウバナ					△★	△★	△★	★	○			
イヌビワ	△?	△?	△?	★	○	○	○	○				
イヌホオズキ					△★	△★	△★	△★	○			
イヌムギ		△	●									●
イノコツチ					△	△★	△★	○	○	●	●	
イボタノキ	○緑	△/★22	★	○	○	○	○	○	○	●	●	
イロハミミジ	★	★										
ウグイスカグラ	△★	○	●								△★29	△★
ウシハコベ	★	△★	△★	★			△★	△★	△★	★		
ウツギ	●	△/★22	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウド						△★	○	○	○			
ウバユリ				△17★24	○	○	○	○	○	○	○	○
ウマノミツバ			△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウマ 植栽	○18	○	○								△/★25	△★
ウラシマソウ	★	★										
ウラジロチチコグサ		△										
ウワバミソウ		△★										
ウワミスザクラ		△★	○									
ウンリュウヤナギ 植栽(1)												★31
エゴノキ		△	○	○	○							
エゾノギシギシ			△★	○	△★							
エノキ	★18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
エノキグサ						△26	△★	○	○			
エノコログサ					○	○	○	○				
エビツル			△	△★	△★	○	★					
エビネ		△★										
オオアレチノギク					△	△★	△★	△★	○8			
オオイヌノフグリ	△★	△★	△★								△★29	△★
オオオナモミ						△★	△★	○	○	○	○	○
オオジシバリ		△★										
オオシマザクラ		○	●									★31
オオニシキソウ	△★				△★	★	★	○	○	△★	○	○
オオバグミ 植栽も									★	△★	○	○
オオハイボタ	●	△★	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオバコ		△★	△★	△★	○	○	△★	○	○	○	○	○

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
オオバジャノヒゲ			△/★12	○	○	○	○	○		●		
オオバナヤエムグラ(コ)				○	○	△★7	○		△	○		★23
オオバヤシャブシ 植栽も		○		○	○	△★	○			△		
オオバタクサ							○					
オオマツヨイグサ		★15										
オオムラサキ 植栽		△★										
オオムラサキシキブ												
オオムラサキシソウ		△/★15	★○	○	○	○	○	○				
オオカタツナミノオ			△★	△★○	○	●	○	○	●			
オギ							△★13					
オケラ	●				△	△	△	★○●	○	●	●	●
オトギリソウ(カ)					△★○	△	△★○●	○				
オトコエシ					△	△★	★○	○	●	●		
オトコヨモギ						△	△★	○	●	●	●	
オニグルミ 植栽		★○	○	○	○		●					
オニシバリ	★○	○●30	●					△	△	△	△★	★
オニタピラコ		△★	△★○●	★								
オニドコロ	●			△★	★○	★○	★○	○	●	●		
オニノゲシ		△★										
オヒシバ					○	★	○	○				
オヘビイチゴ(ウ)	△★25	△★	●	△17								
オヤブジラミ		★○8	○●	●								
オランダガラシ		△★○	★									
オランダミミナグサ	△★○	★○	○									
カガイモ				△★20	△★	△★	○	○				●
カキノキ 植栽		△2	○12	○	○							
カキドオシ	△★	★○										
カクレミノ 植栽							○					
カシワバハダマ	●				△	△	△★	○	○	●	●	
カスマダサ(ウ)		★										
カゼクサ						★	△★○●					
カタクリ 植栽(ウ)												★25
カタバミ	★25	△★	△★○	△★○●		△	△★○	△★				
カナビキソウ(ノ)				△★○								
カナムグラ						△★○	△★○	○	●			
ガマズミ	△25	△/★15	★○	○	○	○	○	○	●	●		
カモガヤ			★									
カヤ							○					
カラスウリ					△★	△★	○	●	●			
カラスザンショウ			△	★17△	★○	○8	○/●16	○	○	○		
カラスノエンドウ	△★○	△★○	●	○	○	○	○	○	○			
カラタチ 植栽(ハ)	△★18		○	○	○	○	○	○	○			
カラムシ					△★	△★	○	○	○	○	○	○

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
カワナデシコ			△★25	△★	△★	○						
カワヨモギ(ノ)					△	△★	○21	○●	○●	●	●	
カンアオイ				★○17	★○	○	○	●	△★	★	★	
カンガレイ 植栽(ハ)					△	△★	△★○●	○●	●	●	●	
ガクビソウ						△★	★16					
カントウタンポポ	★18	△★○										
キカシグサ(ス)												
キクタニギク(ヒ)			○	○								
キクバドコロ(カ)		△/★15										
キジムシロ	△★	★										
キダチコンギク	○							△★○	●	○	○	○
キツタ								△★24	○	○	○	
キツネノボタン(ナ)			△★○	△★○	★●			△★○				
キツネノマゴ				△★	△★14	△★	△★	△★○	★○	●		
キハギ				△★	△★○	△★	★○	○	○●	●	●	
キブシ	△★	○	○	○	○	○	○●	△	△	△	△	△/★7
キユウリグサ	△★	△★○	○/△★13									
ギョウギシバ		★										
ギランソウ	△★	★○										★25
ギレハノブドウ(ヒ)			△	△★○	△★○●	△★○●	○	○●	○●	○●		
ギンエノコロ								○24	○●	○●		
ギンカン 植栽(ハ)				△★○	△★○●	△★○●	○	○●	○●	○●		
ギンミスヒキ				△★24	△★○	△★○●	△★○●	○●	○●			
ギンモクセイ 植栽							△★					
ギンラン		★				○	○					
ギンラン		★				○	○					
クサイ				○	○●	○	○●					
クサイチゴ	△★	★○/●15										★23
クサギ					△★	△★○/●24	○●	●	●			
クサアカソ				△	△/★22	★○	○	○	○●			
クサボタン(カ)							△★					
クサレダマ 植栽(ハ)			△12	△★	△○	○	○●	●	●	●	●	●
クズ				△★	△★○	△★○	○	○●	○●	○●	○●	
クスノキ 植栽						○						
クスギ 植栽も	△★						○●					
クマノミズキ		△	△/★13	○	○	○●	●					
クララ		△★30	△★	★○●	○●	●	●	●				
クリ		★30		○	○	○	○					
クロガネモチ 植栽(ヒ)		△★	△★				○	●	●	●	●	●
クロッカス 植栽(ヒ)												
クロマツ 植栽も												★
クロモジ	★								△	○	△	△
クロヤツシロラン							★		●			

褐

茶

青紫

茶

紺

黒に金色の毛

黒

赤



種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
クワクサ						△26	△★	○●				
ケイワタバコ(1)			★12△	○	○22		○					
ケカマツカ		△★	○6		○							
ケキツネノボタン		△★	△★									
ケスゲ	★	○										
ケチヂミザサ						★	★	○●	●			
ゲンノショウコ				★20	△★	△★	△★	○●				
コウゾリナ	△	△★	△★	●				★	○●	●	●	●
コウヤボウキ						△★	△★	○●	○●	●	●	
コガマ 植栽				△★	○	○	○	○●	○●	●	●	
コクサギ	△★	★	○	○	○	○	○	○●	○●	●	●	
コゴメウツギ		△★	○	○				○●	○●	●	●	
コシオガマ(1)	★	○					△★21	★	○●	○●	○●	★19
コスミレ										○●		
コセンダングサ				△★	○●	△★	△★	△★	△★	△★	●	●
コナスビ		★15		★4	○							
コナラ 植栽も	△	★		○	○	○●	○●					
コニシキソウ					★	★						
コハコベ	△★	△★	△★								△★	△★
コバノガマズミ 植栽		★										
コバノタツナミ	△★18	△★	○			○●	○●	○●	○●	○●		
コブシ 植栽も	△★										△	△/★25
コブナグサ						△26	△★	○●	○●	○●		
コマツナギ				△★	△★	△★	○	○●	○●	○●	○●	
コマツヨイグサ			★		★				●8			
コマユミ 植栽		△★	○6			○	○					
コメツブツメクサ		★22	△★									
サイハイラン		★22	★									
ササガヤ							★					
サザンカ 植栽							★					
サジガククビソウ				△★	△★	○	△	○●	△★	△★	△★	★
サツキ 植栽		★22	★	★				○●				
サトザクラ 園芸種 植栽		★	●									
サネカスラ									●			
サラシナショウマ			○	○	○	○	△/★23	★	○	○●		
サルトリイバラ			★	○	○	○	○	○●	○●	○●		
サルナシ			★	○	○	○	○	○	○●8			
サンカクイ 植栽(1)			△	○25	○●	○●	○●					
サンゴジュ 植栽(1)												
サンショウ												
シオデ												
シナダレスズメガヤ								○●				
シマスズメノヒエ				★	○			○●				



種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
シモツケ	△★			△★○								
シャガ 植栽	★	★15										
ジャケツイバラ	●			△★	○		○	○●	○●	●●	●●	
ジャノヒゲ						△★	△★○●	○●	○	●●	●●	
シュウブソウ								●				
シユロ	△★											
シユロラン 植栽も												
シラカシ 植栽も		★22	○6	○	○		○	○●				
シラキ 植栽も				○	○		△★○●	○●	○●			
シラヤマギク	●	△★	△★	★○	△	△★	○	○●	○●			
シラン		△★		★○		○9	○	○●	○●			
シロザ							△★					
シロタモ	○	○	○				○	△★○●	★			
シロツメクサ 植栽も		★30	△★	★○	△★○●	△★○●9						
シロバナタンポポ 植栽も												★○25
シロバナハンショウツル	△★18	△★	○									
シロヨメナ				△24	△	△★	△★	△★	★○	○●	●	
スイカズラ	△★	★15	△★	○	○	○	△★	△★	○●	○●	○●	
スイバ	△★	△★○										
スギ 植栽	●		○●	○●			○	△		△	●●	★
ススキ												
スズメウリ							△★	○●	○●	○●		
スズメノヒエ							★○	○●	○●			
スズメノヤリ	★○	○				○						
スタジイ 植栽も		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スハマソウ		○										
セイタカアワダチソウ	●	●					△★	△★○●	△★○●	★	●	●
セイヨウタンポポ	★4	△★○●	△○●	★	★	△9★26	△★	△★○●	△★○●	△★	●	●
セリ				△★17	△★○	★○	★					
センニンソウ					△★	△★	△★○	○	○	○	○	
ソメイヨシノ 植栽も	△★	○	○●				△★○	○	○	○	○	
タイアザミ	●						△★	△★○●	○●	○●	○●	●
ダイコンソウ	●			△★	△	△★	△★○	△★○●	○●	○●	○●	●
タカサブロウ				△★	△★○●	★○	★○●	△★○●	★○●	★○	○	
タカトウダイ(花)						△★○	★					
タコノアシ 植栽				○								
タシロラン				○17		△★○7	○●		○●	●		
タチイヌノフグリ	△★○	△★○	★○●									
タチスズメノヒエ?												
タチツボスミレ	△★	★○	○	○	○	○	△★○●				△/★29	
タニウツギ 植栽		△★					●					
タネツケバナ	△★○	★○●		○								★25
タブノキ												

熟した実の色  
茶 白 薄茶

薄茶

黒 (金の毛)

赤

褐 黒紫

赤

赤

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
タマアジサイ	●	●		△	△★	△★○	★○	○	○	●	●	
子ガヤ		★	△★○●	●			★	●				
子カラシバ					○22	★○	★○	○●	●	●		
チャ 植栽						○9	△★○			★○●		
ツクバネウツギ	△★25	△★		△?		○						
ツタ												
ツツジ 植栽					△			△	★	△★	△★	△★
ツバキ 園芸種 植栽	△★											
ツボクサ(花)								●				
ツボスミレ(花)		△★	△★○●									
ツメクサ			△★6				★○●	○●				
ツユクサ				★	△★○	△★○	○	●				
ツリガネニンジン							△★○	○				
ツリフネソウ 植栽も(花)							△★○	○				
ツルウメモドキ			○	○	○	○	○	○	○	○●		
ツルカノコソウ	△★	△★○●	●									
ツルダミ	●18						△16	△★	★	○	○	○
ツルボ							△★○	○●	●			
ツルマサキ			★	○	○	○	○	○	○			
ツルマメ							△★○	○	○	●		
ツワブキ(花)							△★○	△★	★○	●		
テイカアズラ		△/★29	△★	○	○15	○	○	○	○●			
テリハノイバラ		★15	○6									
トウギボウシ(花)材バ				△★								
トウダミ 植栽	△★	○●30										
ドウダンツツジ 植栽	△★18			○								
トウネズミモチ 植栽				△★	○	○	○	○	○●	○●		
トウバナ		△★	△★○		△★○	△★9	○	○	○●	○●	●	
トキリマメ			△	△★	○	○	○	○	○	○		
ドクウツギ	△18	○	○●					●	●	●	●	
ドクダミ		△★22	△★	★○●	○●	○	★○	●	●			
トダシバ												
トチカガミ 植栽(花)		△	★○	○	○	★						
トベラ 植栽			★○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	
ナキリスゲ?							○	○	○	○		
ナズナ	△★○	○●										△★
ナツグミ 植栽も	△★	○●30										
ナツトウダイ	△★	○										★19
ナルユユリ		△★30	○12					●	●			
ナワシロイチゴ			△★○						★○	★○	○	○
ナワシログミ 植栽も								△★				○
ニオイタチツボスミレ(花)	△★											★19
ニガイチゴ(花)	△★25	△★○										

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
ニガキ		△22		△★	△★	△★	○	○				
ニガクサ		△★	△★	△★	△★	△★	○	○	●			
ニガナ		△★	△★	○	○	○	○	○	●			
ニシキギ 植栽		△★	△★	○	○	○	○	○	○			
ニリンソウ 植栽(ウ)	★	★22	★	★	★	★	★	○	○			
ニワゼキショウ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○		△	
ニワトコ		○	○	○	○	○	○	○	○			
ヌカキビ												
ヌスビトハギ				△17★24	△★	△★	△★	○	○	●		
ヌルデ				△★								
ネジバナ												
ネズミノオ												
ネズミモ子 植栽も	△25	△	△★	★	○	○	○	○	○	●		
ネムノキ			△13	△★	★	○7	○	○	○	○		
ノイバラ		△/★8	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
ノゲシ		△★	★	△★	△★	△	△★	△★	○	○	○	○
ノコンギク	●											
ノササゲ												
ノジトラノオ(ウ)				△★10	★	○	○	○	○	○		
ノダケ												
ノブドウ		△22	△	△★	△★	△★	○	○	○	○	○	○
ノミノツツリ	△4											
ノリウツギ 植栽		●	△	△★	○	○	○	○	○	○		
ハイメドハギ												
ハエドクソウ		△★29	△★	△★	△★	△★	△★	○	○	○		
ハキダメギク			△★	△★	△★	△★	★	○	○	○	○	○
ハコネウツギ		△★15	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハコベホオズキ(セ)		△★	△★	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○		
ハシカグサ												
ハゼノキ				○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハダカホオズキ												
ハッカ(フ)												
ハナイカダ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハナイバナ		★										
ハナゾノツクバネウツギ 植栽				△★	△★	△★	△★	△★	○	○		
ハナタデ					△22	△/★12	△★	○	○	○		
ハナトラノオ(セ)												
ハナヤエムグラ			★									
ハマヒサカキ 植栽				○	○15	○	○	○	○	○	○	○
ハリエンジュ		△/★8		●	●	●	●	○	○	○	○	○
ハリギリ												
ハルジオン	△★	△★	△★						△★	△★	△★	△★

茶 茶 赤 褐 青、紫 褐色 灰色 薄茶 赤 ピンク 黒

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
ハンショウツル		△★15										
ハンノキ	★	○		○	○15					△	△	★
ヒイラギ 植栽									△★			
ヒイラギナンテン 植栽(t)										△	△/★13	△★
ヒエガエリ			★									
ヒガンバナ 植栽も	★	○	○	○	○	○	★	○	△	△	△	△
ヒサカキ		○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△
ヒノキ												△
ヒメウス	△★○	△★○●	●									△
ヒメオドリコソウ	△★	△★○										△
ヒメガマ 植栽	●			△★18	○	●	●	●				
ヒメクダ				★○	○	●25	○					
ヒメコウソ	○18	△★○	○	○								
ヒメコバンソウ			○●									
ヒメジョオン		△★29	△★	△★○	△★○●	△★○	△★○●	△★○	△★○		○	
ヒメドコロ					△★○							
ヒメミカンソウ							★○					
ヒメムカシヨモギ					△★○	△★○●24	△★○●					
ヒメヤブラン				★18	△★	△★○		○●				
ヒュウガミズキ(t)				△★○								★23
ビヨウヤナギ 植栽												
ビヨドリジョウゴ				△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	●	●	
ビヨドリバナ				★								
ヒルガオ			△★									
ヒロハクサフジ(t)							○					
ヒロハホウキギク(t)							△★○	●		●		
フキ	★○						△★○●					△★
フクジュソウ 植栽(t)												△★
フジ	●	△★						○●				
フタクサ					△★		○●					
フタナ		△★15	△★6	△★	△★	★	△★					
フタリスカ			○13	○								
フデリンドウ(t)	△★25	○										△
フトイ 植栽(t)	★	★	○	○	●	△★○●9	●					
フリソデヤナギ 植栽	★											
ハクソカズラ	●			△★18	△★○	△★○●	△★○●	○●	○●	△	△	△/★9
ベニバナポロギク					△★	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	●	●	
ハビイチゴ	△★25	△★○	●						★○●	●	●	
ハラオオバコ	△★18	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	●	●					
ハラオモダカ 植栽(t)				△24	△★	△★○	★○●	●				
ホウチャクソウ	△★18	★○	○	○	○	○	●					

灰褐

褐

金茶

黒紫



種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
ホソバアキノノゲシ						△★26	△★					
ホタルカズラ	△★18	★										
ホタルブクロ		△30	△★	△★○	★○							
ホドイモ			△	△	△★	△★						
ホトケノザ(ハ)	△★	★○										△★
ホトトギス							△/★7	○	○	●		
ポントクタデ							△★					
ホンモンジスゲ?	●											
ママコノシリヌグイ				△★	△★	△★○●	△★○●					
ママシグサ		★	○	○			○	○				
マユミ	△	△/★15	○6	○	○●	○	○	○●	○●	●	●	
マルバウツギ		△★	△★○	△★			○	○	○●	●	●	
マルバシャリンバイ 植栽	△★	△★	★○	○	○	○	○	○●	○●	●	●	
マルバハギ 植栽も				△★	△★○	△★	△★	○●	○●	●	●	
マルバヤハズソウ					△★24	△★	△★					
ミズキ	△	△★	○	○	○●	○●	○●	○●				
ミスタマソウ					△★○	○●	○●					
ミズヒキ				△★	△★○●	★○●	△★○●	○	○●	●	●	
ミソイチゴツナギ	△											
ミソソバ							△★	△★○	○●			
ミソハギ 植栽(ケ)					★22							
ミツバ				△★	★○	○●						
ミツバアケビ	★	△★	○	○								△/★22
ミツバツチグリ	△★25	△★										
ミドリハコベ	△★25	○●										
ミヤギノハギ 植栽も				△★	△★	△★	△★○	○●	○●	●	●	
ミヤコグサ		△	★		△★○●	★○●	★○					
ミヤマガマズミ		△★										
ミヤマナルコユリ		△★	○12	○								
ムクゲ 植栽(ハ)	△	△★					★					
ムクノキ		★8	○6	○4	△★	★	○●16	○●	○●			
ムサシアブミ(ヒ)	★25	★										
ムラサキケマン	△★	★○					○					
ムラサキサギゴケ(ハ)		★○										
ムラサキシキブ		△30	△★	★○	○	○	○	○●	○●	●		
ムラサキツメクサ 植栽も		△/★30	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	△★○●	△★○	△★○	○●	○●	★
ムラサキニガナ			△	△★○	★○		●					
メタセコイヤ 植栽											●	●
メドハギ					△★	△★	○	○●	○●	●	●	●

薄茶

褐

黒

薄茶

黒

茶

黒紫

茶

熟した実の色

種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
メナモミ							△★	○				
メヒシバ						★9	△★					
メマツヨイグサ				△★	△★	△★	△★	●	●	●	●	●
メヤブマオ				△★		○	○					
メリケンカルカヤ												
モミジイチゴ	△★	○/●15	●				△★	○	○	●	△	
モミジガサ				○20			△★					
モモ 植栽												
ヤエムグラ	△★	△★	★									
ヤエヤマブキ					★							
ヤクシソウ							△	△★	★	●		
ヤツデ								△/★25	△★	○	○	○
ヤハズソウ							★	○	●	●		
ヤブガラシ				△★	△★	△★	△★	○	○			
ヤブカンゾウ(性)				★								
ヤブコウジ	●			△★	○			●	●	●		
ヤブジラミ			△13	△★	★			★	○/●24	●	●	
ヤブタバコ							△★					
ヤブタビラコ		△★										△★
ヤブツバキ						△★						
ヤブツルアズキ												
ヤブチマリ		★	○	○								
ヤブニッケイ				○								
ヤブニンジン		○	○									
ヤブハビイチゴ	△	△★	●	△	●							
ヤブマオ?				★17	○		○					
ヤブマメ						△★	△★	○	○	●		
ヤブミヨウガ				★20	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤブムラサキ		★30	★	○	○15	○	○	○	○	○	○	○
ヤブラン				△20	△★	★	○	○	○	○	○	○
ヤマアジサイ(性)			△★									
ヤマイ								●				
ヤマグワ	△	○/●22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマコウバシ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマザクラ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマニガナ				△★	△★	△★	△★	○	○	○	○	○
ヤマノイモ				●				○	○	○	○	○
ヤマハギ				○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマハセ 植栽も												
ヤマハタザオ												
ヤマハツカ(性)		△★	★									
ヤマハンノキ		○			○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマブキ	★											

黒

茶

薄茶

黒

赤

グレー

茶

紫→褐

黒

茶

黒

茶



種名	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月4日
ヤマボウシ 植栽			★12	○	○							
ヤマホトトギス						△★7						
ヤマミズ(△)						△	△★/○16	●				
ヤマムグラ		△		○●	○●							
ヤマモモ 植栽	△	○										△
ヤマユリ		△22	△	△★	○	○	△	△/★17	●	●		
ヤマラッキョウ(カ)									○	○	○	△★19
ヤマリソウ(□)		○15										
ユキノシタ		★22	★	★○								△★22
ユキヤナギ 植栽	★○			△★	△★○	△★○●	△★○●					
ヨウシュヤマゴボウ												
ヨゴレネコノメソウ(□)		○										
ヨメナ												
ヨモギ	●	●				△★24	△★	★○	●	●	●	●
ラセイタソウ?												
リュウノウギク						△/★26	△★	△★○	●	●	●	●
リュウブ 植栽(セ)						○	○			○		
リンドウ				△★	○	○	○	△★	△★○	○	●	
レモンエゴマ(□)								○●	★○	○	●	
ワレモコウ						△/★24	★	○	○			
その他												
コモチシダ												
オオハナワラビ						あり	こども	こども	こども	こども	こども	
フユノハナワラビ						あり?						
イヌドクサ			★									
ツクシ	あり											

黒

黒

園内で観察できる場所に限られている植物は種名の右( )内に場所を記した  
畑一ハ生熊園一セコラの谷一コガンの森一カビクニク広場一ヒカギの林一ウチワ林の丘一7,1ギキの広場一ノガジの谷一ゲ,炭焼き場一ス,尾根道一オ

# 移入生物リスト

(2000.3までにわかっているもの)

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
貝	カワナナ	1984or1985				群馬県産			1986
貝	カワナナ	1986.4以前				戸塚区俣野町・瀨上池周辺			1986
昆虫	ゲンジボタル	1984?-1990?	ゲンジボタルの谷・ヘイケボタルの湿地・いたち川	幼虫			生息	地元の人が放流? 調査報告書86より ヘイケボタルの湿地(頭数不明: 1984or85)、いたち川(160頭: 1987、1300頭:1988)、ゲンジボタル の谷(670頭:1988)、調査報告書 86-88参照	1986 1999
昆虫	ゲンジボタル	1986.4以前		成虫		群馬県産		地元の人が放流? 調査報告書86より	1986
昆虫	コオイムシ								1999
昆虫	タガメ								1999
昆虫	ヘイケボタル	1987-1990?	ヘイケボタルの湿地・ゲンジボタルの谷	幼虫		瀨上池周辺	生息	ゲンジボタルの谷(300頭:1987、 500頭:1988)、ヘイケボタルの湿地 (50頭:1987、670頭:1988)、調査 報告書86-88参照	1999
魚	メダカ		ヘイケボタルの湿地・ゲンジボタルの谷・ミズキの池・水鳥の池			群馬県産?	ヘイケボタルの湿地・水鳥の池では絶滅		1999
魚	メダカ		生態園の池			戸塚区矢部池産 or 大池産?	絶滅	ヒメダカと一緒に飼われていた	1999
魚	モツゴ	1986.4以前	ミズキの池			舞岡谷戸	生息		1999
植物	アキノウナギツカミ	1991.7.13	ヘイケボタルの湿地						
植物	アキノキリンソウ	1990.11.1	生態園						
植物	アサザ	1986	ヘイケボタルの湿地	株		神奈川県自然保護センター			1998.10.28
植物	アサザ	?	ヘイケボタルの湿地	?	?	?	?	植栽品と聞いた	1998.10.20
植物	アブノメ?	1991.7.13	ヘイケボタルの湿地			舞岡谷戸	不明		1998.10.28
植物	アマナ	1994.5	センター前	普通株	3				
植物	アマナ	1991.3.22	生態園 NC2			金沢区西柴			
植物	イイギリ	1986.12	生態園とモンキチヨウの広場センターより	種子	50±	大田区の民家	育っているがまだ結実しない		1998.10.20
植物	イチリンソウ	?	クヌギの林A	?	?	?	?		1998.10.20
植物	イヌタヌキモ	1986	ヘイケボタルの湿地		?	?			1998.10.28
植物	インゲンマメ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	ウツボグサ	?	クヌギの林A	?	?	?	?		1998.10.20

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状況	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	ウツボグサ	1990.9.9	？	種子、		思金神社横 山道	1991.7.6 開花		
植物	ウツボグサ	不明	クヌギの林・D地区 生態園周辺	不明			不明		2000.2.2
植物	ウバユリ	1991.4.3	ハイケボタルの湿地		8	栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	ウリクサ	1989.7.4	ハイケボタルの湿地						
植物	ウンリュウヤナギ	？	畑の両わき？	枝	2	東神奈川のお寺	大きくなった		1998.10.20
植物	エノキ	1996.4	窯場	苗木	1	園内から			1998.10.28
植物	エビネ	1990.4	センター前	普通株	2		成育している		1998.10.28
植物	エビネ	1992.3.1	生態園			上郷開発予定地			
植物	オオアカウキクサ	1993が1994	ハイケボタルの湿地 とゲンジボタルの谷 の流末の池とミズマ シンの池、ゲンジボタ ルの谷の流末	全て大 人	バケツ 一杯	上郷町460付近と 山手学院下の谷 戸造成地内流水	流れてなくなっただか な？		1998.12
植物	オオアカウキクサ	1994.1.22	ハイケボタルの湿 地、ウグイスの草地 入口水路、ミズスマ シの池、ゲンジボタ ルの谷の流末			山手学院下の谷 戸から			？
植物	オニグルミ	？	ミズキ 1 3	1mほ どの株	5		成育していると思う		1998.10.28
植物	オノエヤナギ	1992	タンポポ 7	挿木	2	瀬上沢	活着		1998.11.3
植物	オミナエシ	91.4	ハイケボタルの湿地	苗木	5~6	？	枯れた	来訪者から	1998.10.28
植物	オミナエシ	？	ハイケボタルの湿地 A	？	？		枯死したかも。スス キを刈れば出るか も？		1998.10.20
植物	オミナエシ	1991.4.3	ハイケボタルの湿地		2				
植物	オミナエシ (オノコ エシ?)	1990.4.15	ハイケボタルの湿地						
植物	カキドオシ	1990.4.10	ハイケボタルの湿地			瀬上市民の森の 湿地			
植物	カタクリ	1990.4	センター前	普通株	1		不明		1998.10.28
植物	カブ	1998.9	窯場	播種		？			1998.10.28
植物	カララナデシコ	1990.11.1	生態園						
植物	カンガレイ	？	ハイケボタルの湿地	株		柏尾の金井遊水 川			1998.10.28

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状況	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	カンゾウSP.	1990.4.10	ハイケボタルの湿地			瀬上市民の森の湿地			
植物	カントウタンポポ	1990.4.10	ハイケボタルの湿地			瀬上市民の森の湿地			
植物	カントウヨメナ	?	ハイケボタルの湿地A	株	?	瀬上市民の森の畑から	少し残っている		1998.10.20
植物	カントウヨメナ	1990.9.29				瀬上			
植物	キカラスウリ	1994.12.7	生態園	種	不明	小網代	不明		2000.2.2
植物	キツネノカミソリ	1990	クヌギの林	輪形	25	飯島市民の森	生存		1998.11.3
植物	キツネノカミソリ	?	クヌギの林B	根塊	20	飯島市民の森	増加中		1998.10.20
植物	キツリフネ	1990.4.15	ハイケボタルの湿地	普通株	20~30	柏尾川からの野性のもの	枯れた		1998.10.28
植物	クコ	1994.4	生態園						
植物	クサノオウ	1991.5.14	生態園						
植物	クサボケ	1992.3.1	生態園						
植物	クサボケ	1993以前	生態園	種	1993.9.19 .19 .19 8本	上郷開発予定地 天園の尾根	不明		2000.2.2
植物	クサレダマ	?	ハイケボタルの湿地	株		舞岡公園			1998.10.28
植物	クサレダマ	?	ハイケボタルの湿地A			舞岡			1998.10.20
植物	クサレダマ	1991.7.13	ハイケボタルの湿地			舞岡谷戸			
植物	ケンボナシ	1993.11.21	生態園	種	たくさん	逗子	不明		2000.2.2
植物	コウガイゼキシヨウ	1989.7.4	ハイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	コウガギク	1990.9.29		種子		瀬上谷戸			
植物	コウガギク	1990.9.29				瀬上			
植物	コウホネ	?	ハイケボタルの湿地A	?	?	?	?	植栽品と聞いた	1998.10.20
植物	コカブ	1999	畑	種					
植物	コカブ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	コサンカクイ?	1989.7.4	ハイケボタルの湿地	種		栄区金井 柏尾川 金井遊水池	ほとんど全て食べられた		2000.3.11

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	コマツナ	1998.9	窯場	?		?			1998.10.28
植物	コマツナ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	サギシバ	92.4	ヘイケボタルの湿地	花のついでい	たくさん	?	枯れた	来訪者から	1998.10.28
植物	サギシバ	1991.3.6	ヘイケボタルの湿地	苗木		?	大量		
植物	サツマイモ	1998.4	窯場						1998.10.28
植物	サフヒヨドリ	1990.11.12	ヘイケボタルの湿地 階段左手	種子		瀬上谷戸 あぜの上			
植物	サンカクイ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	サンカクイ	1989.7.4	水鳥の池			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	ジャガイモ	2000.2.	畑	種芋	10		葉が少し出ているの もある		2000.3.11
植物	シャジクモ	1996	ヘイケボタルの湿地 A						1998.10.29
植物	ジュズダマ	?	ヘイケボタルの湿地 A	種子		沼津市浮島	今はない?		1998.10.29
植物	ジュズダマ	1989.1.11	ヘイケボタルの湿地	種		沼津市浮島沼	種子を採取 ほとんど全て食べら れた		2000.3.11
植物	シュンギク	1999	畑				活着		
植物	シラン	1991.4.14	生態園						1998.10.29
植物	シロバナサクラタデ	?	ヘイケボタルの湿地 A			?	確か園内のど こか		
植物	シロバナサクラタデ	1990.11.1.	ヘイケボタルの湿地 (右側)			能見堂緑地			
植物	シロバナサクラタデ	1993.5頃	ヘイケボタルの湿地 B	株	5	称名寺市民の森	生存している		1998.10.20
植物	ジロポウエンゴサク	不明	クスギの林・D地区	不明	不明		不明		2000.2.2
植物	スズラン	1990.4	センター前	普通株	3		成育している		1998.10.28
植物	スナックエンドウ	1999	畑	種			根は残っている様だ が葉はみんな食べら れている		2000.3.11
植物	ソナレマツムシソウ	1992.5	センター前	苗	30		枯れた		1998.10.28
植物	ソラマメ	1999	畑	種	7		3株だけ		2000.3.11

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状況	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	ダイコン	?	窯場	?		?			1998.10.28
植物	ダイコン	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	タコノアシ	?	ヘイケボタルの湿地 A						1998.10.20
植物	タコノアシ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	タチコウガイゼキ シヨウ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	タチヤナギ	1993	タンポポ 7	挿木	3	大和市	活着		1998.11.3
植物	タデSP.	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	タムラソウ	1990.11.12	生態園 (リュウギク 裏)	株、種 子		上郷開発予定地			
植物	タムラソウ	不明	クヌギの林・D地区	苗	不明		不明 (アキアカネの 丘に群生しているも のとの関係は不明)		2000.2.2
植物	チゴユリ	1991.4.4	生態園				活着		
植物	チダケサシ	1990	クヌギの林	株	2	思神社横	増えも減りもしない		1998.11.3
植物	チダケサシ	1990.9.29		種子、 穂	1穂	瀬上谷戸			
植物	チダケサシ	1990.9.8	ミズキ 4の階段途 中	株	2	瀬上谷戸 水田の あぜ	1991.7.5 開花(1株)		
植物	チダケサシ	1990.9.8	クヌギの林 実験区 NO3	株	3	瀬上谷戸 水田の あぜ			
植物	チダケサシ	不明	クヌギの林・D地区	不明	不明		不明		2000.2.2
植物	チャ	1996.4	窯場	種子					1998.10.28
植物	ツリガネニンジン	1990.9.29		種子		瀬上谷戸			
植物	ツリガネニンジン	1991.3.24	クヌギの林D4区	株	4	金沢区西柴			
植物	ツリガネニンジン	1991.3.24	雑木林 コドラート NO.1,2,3						
植物	ツリフネソウ	?	ヘイケボタルの湿地 A	株、種 子		ゲンジボタルの 谷			1998.10.29
植物	ツリフネソウ	?	ヘイケボタルの湿地 A	種子	?	ひょうたん池へ 行く途中	?	2年ほど続けたと思う	1998.10.20
植物	トチカガミ	1986	ヘイケボタルの湿地	株		?			1998.10.28
植物	トモエソウ	1989.11.13	ヘイケボタルの湿地		18				
植物	ニオイタチツボスミ	1991.4.14	生態園			上郷高校付近	活着		



分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状況	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	ニシキギ	1998.6	ミスギの池	成木	1	園内移動(タンポポ6)	根づいている		1998
植物	ニリンソウ	1990	クヌギの林	輪形根		中野町	生存		1998.11.3
植物	ニリンソウ	?	クヌギの林A	根	20±	称名寺市民の森	増加中		1998.10.20
植物	ニリンソウ	1990.6.	雑木林 コドラー-MO.3			栄区中野町	1991.3.24 定着		
植物	ハッカ	1993.6	生態園	苗木	2				2000.2.2
植物	ハナニラ	1997.9	窯場	苗木					1998.10.28
植物	ハニバンタム	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	ハマユウ	1991.3.5	生態園	株	7				
植物	ハンゲシヨウ	?	ヘイケボタルの湿地 B			金沢市民の森(清戸谷戸)			1998.10.29
植物	ヒガンバナ	1990.11.1	ミスギ 20	球根	約30				
植物	ヒガンバナ	1991.3.5	?	株	20				
植物	ヒシ	97.5.19	ゲンジボタルの谷	種子	10	横須賀市長井町台戸作堰	大雨で流されて, 無くなった		1998.11.7
植物	ヒシ	97.5.8	ゲンジボタルの谷	種子	20	横須賀市長井町台戸作堰	大雨で流されて, 無くなった		1998.11.7
植物	ヒマワリ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	ヒメホタルイ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	ヒヨドリバナ	1990.9.29		種子		瀬上谷戸			
植物	ヒロハノコウガイゼキシヨウ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	フクジュソウ	1990.4	センター前	普通株	1		不明		1998.10.28
植物	フジバカマ	1991.4.3	ヘイケボタルの湿地		1				
植物	フジバカマ	1993.4.4	生態園	?	?	金沢区西柴(購入)	?		?
植物	フトイ	1986	ヘイケボタルの湿地	株		神奈川県自然保護センター			1998.10.28
植物	フトイ	1989.7.4	水鳥の池			栄区金井 柏尾川 金井遊水池	1991.8.6 開花、定着		
植物	ベニバナトチノキ	?	畑	菌 or 種子	?				1998.10.20
植物	ホウレンソウ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	ホソバイヌビワ	1989.11.14	霊園口階段上部			?			

分類	種名	移入年・月	移入場所	移入状況	移入数	移入もと	記入日現在の状態	備考	記入日
植物	ホソバヒメミソハギ	1989.7.4	ヘイケボタルの湿地			栄区金井 柏尾川 金井遊水池			
植物	ボタンウキクサ	?	ヘイケボタルの湿地			?		恐らく来訪者	1998.10.28
植物	マイヅルソウ	1991.4.4	生態園						
植物	マコモ	1987?.7	ヘイケボタルの湿地	株		戸塚区矢部池			1998.10.28
植物	マツバウンラン	1992.5.17	野外トイレ付近の植 込の内側			名古屋			
植物	マンリヨウ	?	上の野外トイレ前	普通株	5		成育していると思う		1998.10.28
植物	ミクリ	1986	ヘイケボタルの湿地	株		?			1998.10.28
植物	ミソソバ	?	ヘイケボタルの湿地 A	種子	?	ひょうたん池へ 行く途中	?	2年ほど続けたと思う	1998.10.20
植物	ミツガシロ	1986	ヘイケボタルの湿地	株		こども植物園			1998.10.28
植物	ミニトマト	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	モミジ	1998.6	ミズキの池	成木	1	園内移動(タン ポポ 6)	根づいている		1998
植物	ヤナギタデ	1988.10.	生態園 細長い池			沼津市原浮島沼	1990.10.17 定着確 認(花・群落)		
植物	ヤマエンゴサク	?	クヌギの林A	?	?	?	?		1998.10.20
植物	ヤマエンゴサク	1991.3.24	雑木林 コラールNO.3						
植物	ヤマエンゴサク	不明	クヌギの林・D地区	不明			不明		2000.2.2
植物	ヤマツツジ	1992.3.1	生態園			上郷開発予定地			
植物	ヤマブキソウ	1991.4.4	生態園				活着		
植物	ヤマボウシ	1997.3	繁殖場	苗木	1	神奈川県 9 6 年 植樹祭			1998.10.28
植物	ヤマユリ	1990.9.9	?	小株(り ん片)		?			
植物	ヤマラッキョウ	1990.11.12	生態園			上郷開発予定地			
植物	ラデイシユ	2000.3.	畑	種					2000.3.11
植物	リンドウ	1990.11.12	生態園			上郷開発予定地			
記入者: 安藤・大屋親雄・金子紀子・久保浩一・倉持広美・古南幸弘・小形慶子・篠原由紀子・高橋・出浦玄昌・中川・西川文雄・林辰雄・原田修・平野貞雄・渡弘									

鳥類出現記録 (1999)

月別園内鳥類出現率 (%) (1999年4月～2000年3月)

\* 空白は、0.0を示す

番号	科名	種名	4月 月間	5月 月間	6月 月間	7月 月間	8月 月間	9月 月間	10月 月間	11月 月間	12月 月間	1月 月間	2月 月間	3月 月間
1	サギ	ミゾゴイ	16.7	3.3										
2	サギ	ゴイサギ		6.7			6.7	10.7						
3	サギ	コサギ						7.1	10.0	14.8	24.0	12.0	10.7	
4	サギ	アオサギ	6.7		3.7	6.7						4.0	3.6	3.2
5	ガンカモ	オシドリ					13.3	10.7	13.3	3.7				3.2
6	ガンカモ	マガモ							6.7					
7	ガンカモ	カルガモ	30.0	6.7	7.4		16.7	28.6	13.3	7.4	4.0	12.0	7.1	9.7
8	ガンカモ	コガモ											3.6	6.5
9	ワシタカ	トビ	90.0	73.3	51.9	63.3	73.3	75.0	73.3	85.2	84.0	96.0	96.4	100.0
10	ワシタカ	オオタカ		3.3					10.0	7.4	8.0	12.0		3.2
11	ワシタカ	ツミ							3.3				3.6	
12	ワシタカ	ハイタカ							3.3		4.0	8.0		
13	ワシタカ	ノスリ		3.3					6.7	11.1	8.0	40.0	28.6	19.4
14	ハヤブサ	チョウゲンボウ											3.6	
15	キジ	コジュケイ	83.3	86.7	85.2	66.7	76.7	64.3	53.3	51.9	76.0	64.0	82.1	71.0
16	キジ	キジ	73.3	83.3	37.0	20.0	16.7	28.6	16.7		12.0	24.0	32.1	35.5
17	クイナ	バン	3.3											
18	シギ	ヤマシギ												3.2
19	カモメ	セグロカモメ												3.2
20	ハト	キジバト	73.3	76.7	81.5	60.0	76.7	64.3	70.0	74.1	88.0	76.0	92.9	90.3
21	ハト	アオバト	3.3	3.3					3.3					
22	ホトギス	カッコウ		3.3										
23	ホトギス	ホトギス		30.0	59.3	13.3								
24	フクロウ	フクロウ	20.0	3.3		3.3					4.0			
25	アマツバメ	ヒメアマツバメ			11.1	10.0	3.3		10.0			4.0		
26	カワセミ	カワセミ	30.0	6.7	29.6	26.7	20.0	35.7	40.0	40.7	40.0	28.0	21.4	22.6
27	ヤツガシラ	ヤツガシラ	3.3											
28	キツツキ	アオゲラ	56.7	46.7	29.6	20.0	16.7	10.7	26.7	3.7	12.0	28.0	17.9	25.8
29	キツツキ	コゲラ	80.0	60.0	29.6	23.3		35.7	40.0	48.1	68.0	64.0	89.3	67.7
30	ツバメ	ツバメ	63.3	60.0	63.0	70.0	66.7	14.3	3.3					3.2
31	ツバメ	コシアカツバメ				16.7	3.3	10.7	6.7					
32	ツバメ	イワツバメ	3.3			13.3	3.3		3.3					
33	セキレイ	キセキレイ	6.7	3.3	3.7				6.7	3.7		8.0	10.7	
34	セキレイ	ハクセキレイ	13.3	6.7	25.9				20.0	14.8	20.0	16.0	28.6	
35	セキレイ	セグロセキレイ							3.3					
36	サンショウクイ	サンショウクイ				3.3								
37	ヒヨドリ	ヒヨドリ	86.7	86.7	85.2	86.7	83.3	71.4	90.0	88.9	100.0	92.0	100.0	90.3
38	モズ	モズ	13.3				23.3	10.7	86.7	74.1	60.0	60.0	53.6	61.3
39	ミソサザイ	ミソサザイ										4.0		
40	イワヒバリ	カヤクグリ											3.6	
41	ヒタキ	ルリビタキ							3.3	7.4	12.0	16.0	21.4	3.2
42	ヒタキ	ジョウビタキ	3.3						10.0	33.3	24.0	36.0	35.7	3.2
43	ヒタキ	トラツグミ		3.3							4.0	8.0	3.6	3.2
44	ヒタキ	クロツグミ												
45	ヒタキ	アカハラ	16.7							3.7	12.0	56.0	57.1	25.8
46	ヒタキ	シロハラ	20.0							3.7	28.0	64.0	96.4	71.0
47	ヒタキ	マミチャジナイ							10.0					
48	ヒタキ	ツグミ	36.7	3.3						14.8	48.0	28.0	39.3	25.8
49	ヒタキ	ヤブサメ	20.0	16.7	3.7	13.3								
50	ヒタキ	ウグイス	93.3	90.0	88.9	86.7	60.0	3.6	20.0	40.7	76.0	64.0	67.9	83.9
51	ヒタキ	オオヨシキリ		6.7										
52	ヒタキ	エゾムシクイ		6.7										
53	ヒタキ	センダイムシクイ	10.0	3.3				3.6						
54	ヒタキ	キビタキ		3.3		3.3			30.0	11.1				
55	ヒタキ	オオルリ	16.7	13.3										
56	ヒタキ	エゾビタキ							20.0					
57	ヒタキ	コサメビタキ							13.3					
58	ヒタキ	サンコウチョウ		3.3										

番号	科名	種名	4月 月間	5月 月間	6月 月間	7月 月間	8月 月間	9月 月間	10月 月間	11月 月間	12月 月間	1月 月間	2月 月間	3月 月間
59	エナガ	エナガ	46.7	3.3	3.7		3.3	10.7	6.7	29.6	52.0	44.0	60.7	51.6
60	シジュウカラ	ヤマガラ	66.7	43.3	22.2	6.7		46.4	56.7	14.8	28.0	32.0	35.7	64.5
61	シジュウカラ	シジュウカラ	93.3	90.0	85.2	70.0	43.3	71.4	80.0	88.9	88.0	96.0	96.4	93.5
62	メジロ	メジロ	83.3	86.7	63.0	80.0	43.3	60.7	73.3	77.8	80.0	84.0	92.9	90.3
63	ホオジロ	ホオジロ	73.3	80.0	63.0	53.3	46.7	14.3	40.0	59.3	72.0	64.0	85.7	80.6
64	ホオジロ	カシラダカ								7.4	8.0	4.0		
65	ホオジロ	アオジ	26.7						6.7	59.3	84.0	92.0	100.0	96.8
66	ホオジロ	クロジ		3.3							12.0	16.0	7.1	3.2
67	アトリ	アトリ							10.0	7.4				
68	アトリ	カワラヒワ	16.7	13.3	18.5	10.0		3.6	6.7	3.7	16.0	16.0	32.1	16.1
69	アトリ	ベニマシコ									4.0	8.0		
70	アトリ	ウソ	10.0							11.1	12.0	8.0	21.4	16.1
71	アトリ	イカル	3.3	3.3					3.3	3.7	8.0	4.0	7.1	9.7
72	アトリ	シメ	23.3							11.1	32.0	32.0	25.0	19.4
73	ハタオリドリ	スズメ	90.0	86.7	85.2	90.0	96.7	92.9	96.7	100.0	92.0	84.0	92.9	90.3
74	ムクドリ	ムクドリ	33.3	46.7	51.9	23.3		17.9	33.3	14.8	8.0	20.0	3.6	12.9
75	カラス	カケス							10.0		8.0	4.0	7.1	
76	カラス	オナガ					3.3	7.1		3.7			3.6	
77	カラス	ハシボソガラス	30.0	10.0	7.4	13.3	6.7	17.9	20.0	7.4	4.0	28.0	14.3	6.5
78	カラス	ハシブトガラス	86.7	76.7	70.4	83.3	90.0	96.4	90.0	88.9	80.0	88.0	96.4	87.1
79	*ハト	ドバト	23.3	10.0	14.8	13.3	3.3	7.1	13.3			8.0		

## ・ ・ 投稿される方へ ・ ・ ・ ・ ・

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を年に1度調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいますよう、お願いいたします。

**調査報告書の目的** 横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

**投稿内容** 横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査（他の場所でもOK）の活動報告とその結果、生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。99年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

**形式** 「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

**切** 2001年3月15日 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

**投稿先・問い合わせ連絡先** 横浜自然観察の森 〒247 横浜市栄区上郷町1562-1  
TEL: 045-894-747 FAX: 045-894-8892  
ご不明な点はお気軽に 藤田（調査報告書担当レンジャー）まで

### 「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、全ての項目に記入できない場合は、書ける項目だけ記入して下さい。  
→ 99年度に行った調査については、太枠の中だけ記入するのでも構いません。この場合、調査項目や、方法、結果などは、無理に書かなくても構いません。  
→ 97年度以前の調査について書かれる場合には、太枠内だけでなく、必ず「かんたんな調査」の調査項目や方法、結果などを書くか、または、「くわしい報告」を書くかのどちらかにして下さい。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に（ ）で所属を書いて下さい。  
例：藤田 薫（横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト）  
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はなるべくプリントアウトしたものを送って下さい。
  - ・手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使って下さい。
  - ・コンピューター等で自分で枠を作って打ち込む方は、A4縦置きで、上3cm、下4cm、左右2.5cmの余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。
  - ・枠を自分で作らずにワープロ等で打ち込む方は、原稿を書式に切り貼りしてください。

\* 編集の手間を省くため、できる限り、いただいた原稿をそのまま印刷原稿として使わせていただきたいと思いますので、なるべくプリントアウトした原稿をお送り下さい。



横浜自然観察の森調査報告 6 (2000)

調査名：		
調査者：		
調査場所：		
調査日：		
調査開始年：           年	次年度予定： 継続・終了	終了予定年：           年
調査目的：		
調査方法：		

調査結果：

参考にした本・文献：

## 「くわしい報告」の書き方

### 1. 提出方法について

MS-DOSまたはMacintoshのテキストファイル形式で原稿を保存したフロッピーディスク(MS-DOSかMacintoshかを明記して下さい)と、A4サイズの内紙を縦置きにしてプリントアウトした原稿をお送り下さい。

図は、A4サイズの内紙にお書き下さい。編集の手間を省くため、図は、本文の最後にまとめて載せます。ご了承下さい。

### 2. 全体について

報告は、できる限り短く書いて下さい。図や表もできるだけ少なくします。

表よりは図で表現する方がよいと言われています。図であれば、一目で理解できることも、表になると理解するのに時間がかかってしまうからです。

### 3. 構成について

(1) タイトル／ 調査の内容についてわかるようなタイトルをつけます。

(2) 著者名と著者の所属・連絡先住所／

(3) はじめに／ 観察や調査を行なった動機・目的を書きます。同じテーマで、過去に行われた調査では、どこまで明らかになっているかなども、ここに書きます。

(4) 調査地と調査方法／ 調査地について簡潔に書きます。調査地の環境については、報告のテーマに関係ないときには簡潔に、テーマに関係あるときにはくわしく書きます。

調査期間として、何年の何月から何月まで観察したかを書き、合計観察時間や日数も入れます。

調査方法としては、どのように調査したかを、他の人が、同じ方法で繰り返し同じ調査ができる程度に詳しく書きます。

(5) 結果／ 自分の調査でわかったことを書きます。

(6) 考察／ 自分の結果から考えられる結論だけを書くようにします。自分の調査でどうしてそういう結果になったのかを、他の研究を引用しながら、考察したり、他の研究と結果を比較したりします。

(7) 謝辞／ 調査を手伝ってくださった方、調査計画をたてる時や論文を書く時に相談にのってくれた方や、助成金をもらっている場合は、どこからもらったのかを明記し、謝辞をのべます。

(8) 要約／ 短くまとめて論文内容全体の紹介をする場所です。

自分の調査の結果どんなことがわかったのかをできるだけわかりやすく、短くまとめます。

(9) 引用文献／ 報告の本文中で引用した文献を、すべて書きます。

形式は、雑誌の場合：著者名、発表年、論文表題、掲載雑誌名、巻号：ページ。

本の場合：著者名、発表年、表題、総ページ数、発行所、発行地。

## 横浜自然観察の森調査報告 5

2000年6月発行

編集・発行／日本野鳥の会サンクチュアリセンター

〒150-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F

TEL 03-5358-3517/FAX 3608

(編集者：藤田 薫)

連絡先／横浜自然観察の森

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL 045-894-7474/FAX 8892

\* 無断転載を禁じます。